

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

2016年3月期 第2四半期 決算説明会

2015年11月5日

株式会社メイテック
代表取締役社長
グループCEO
國分 秀世

1. 2016年3月期第2四半期 業績
2. 2016年3月期 業績予想
3. ご参考資料

- 私からは、
2016年3月期第2四半期の業績、
2016年3月期の業績予想、
を説明させていただきます
- 「ご参考資料」は、のちほどご覧ください

1. 2016年3月期第2四半期 業績



- 2016年3月期第2四半期の業績を説明します

2016年3月期第2四半期業績 グループ連結

- ✓ 主要顧客である大手製造業が技術開発投資を持続された為、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前期比7.2%の増収、営業利益は18.8%の増益
- ✓ 前期の特別損失:約35億円に対し、今期は約10億円の特別利益を計上したため、四半期純利益は大幅増益の37.98億円

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'15年3月期 2Q実績	'16年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'15年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	39,300	42,143	+2,842	+7.2%	41,800	+343
売上原価	29,366	31,321	+1,954	+6.7%	31,100	+221
原価率	74.7%	74.3%	▲0.4%			
販売管理費	5,941	6,077	+135	+2.3%	6,400	▲322
営業利益	3,992	4,744	+752	+18.8%	4,300	+444
営業利益率	10.2%	11.3%	+1.1%		10.3%	+1.0%
経常利益	4,012	4,723	+710	+17.7%	4,300	+423
特別損益	△3,456	1,054	+4,511			
税金等調整前四半期純利益	555	5,777	+5,221	+939.7%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	194	3,798	+3,604	+1856.8%	3,300	+498
四半期純利益率	0.5%	9.0%	+8.5%			

4

- グループ連結の業績概要です。
- 主要顧客の大手製造業で、技術開発投資を持続されたため、エンジニア派遣事業が業績をけん引し、売上高は前年同期比7.2%増収の421億43百万円、営業利益は18.8%増益の47億44百万円となりました。
- 四半期純利益は、前期の特別損失約35億円に対し、今期は約10億円の特別利益を計上したため、特別損益(そんえき)が大きく改善したことから大幅増益の37億98百万円となりました。
- 特別損益(そんえき)の内容については、のちほど説明致します。

- ✓ 引き続き連結売上高の9割超を占めるエンジニア派遣事業が業績をけん引
- ✓ エンジニアに特化した紹介事業も増収増益、エンジニアリングソリューション事業は黒字転換

グループ・セグメント (百万円)	'15年3月期 2Q実績	'16年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
派遣事業 売上高	38,024	40,696	+2,672	+7.0%
構成比	96.8%	96.6%	▲0.2%	
営業利益	3,853	4,518	+665	+17.3%
紹介事業 売上高	632	720	+87	+13.8%
構成比	1.6%	1.7%	+0.1%	
営業利益	152	217	+65	+42.9%
エンジニアリングソリューション事業 売上高	737	846	+109	+14.8%
構成比	1.9%	2.0%	+0.1%	
営業利益	△14	10	+25	—

※ 2014年10月1日付で当社の連結子会社である株式会社メイテックCAEを吸収合併したことに伴い「エンジニアリングソリューション事業」に含めていたCAEの経営成績を「派遣事業」に含めて表示しております。よって、前年同期比は前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

- グループ・セグメント別の業績です。
- 派遣事業の中核であるエンジニア派遣事業では、稼働人員数の増加などにより、売上高は前年同期比7.0%増収の406億96百万円、営業利益は前年同期比17.3%増益の45億18百万円となりました。
- エンジニアに特化した紹介事業の売上高は、13.8%増収の7億20百万円、営業利益は42.9%増益の2億17百万円となりました。
- エンジニアリングソリューション事業は、売上増加により前年同期の営業損失14百万円から、この上半期は10百万円の営業黒字となりました。

2016年3月期第2四半期業績 メイテック

- ✓ 稼働人員数の増加により、売上高は前期比8.0%増収、営業利益は20.3%増益
- ✓ 新卒エンジニア社員の配属が順調に進められたこと等も背景に稼働率は期初予想比+0.8%
- ✓ 前期の特別損失:約35億円に対し、今期は約10億円の特別利益を計上したため、四半期純利益は大幅増益の37.49億円

メイテック (百万円)	'15年3月期 2Q実績	'16年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'15年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	30,682	33,131	+2,448	+8.0%	33,000	+131
売上原価	23,091	24,758	+1,667	+7.2%	24,800	▲42
原価率	75.3%	74.7%	▲0.5%		75.2%	▲0.4%
販売管理費	4,325	4,444	+119	+2.8%	4,600	▲156
営業利益	3,265	3,927	+662	+20.3%	3,600	+327
営業利益率	10.6%	11.9%	+1.2%		10.9%	+0.9%
経常利益	3,697	4,395	+698	+18.9%	4,100	+295
特別損益	△ 3,455	1,041	+4,496			
税引前四半期純利益	242	5,437	+5,195	+2145.9%		
四半期純利益	172	3,749	+3,577	+2073.3%	3,400	+349
稼働率(全体)	93.9%	96.0%	+2.1%		95.2%	+0.8%
稼働時間<h/day>	8.90	8.77	▲0.13	▲1.5%	8.90	▲0.13
期末エンジニア社員数<名>	6,209	6,563	+354	+5.7%		

6

- メイテック単体の業績概要です。
- 稼働人員数の増加により、売上高は前年同期比8.0%増収の331億31百万円、営業利益は20.3%増益の39億27百万円、四半期純利益は、特別損益(そんえき)の改善により、大幅増益の37億49百万円となりました。
- 稼働率は96.0%で、期初予想比+0.8%となりました。
- これは、今年4月入社の新卒エンジニア社員と、既存エンジニア社員の配属が順調に進められたためです。
- ただし、稼働時間は、前年同期比、期初予想比共に▲0.13時間、低下しました。
- この詳細についてはのちほど説明させていただきます。

- ✓ 稼働人員数の増加により、売上高は前期比11.0%増収、営業利益は12.6%増益
- ✓ 新卒エンジニア社員の配属が上期中に全員完了、稼働率は期初予想比+1.6%増加

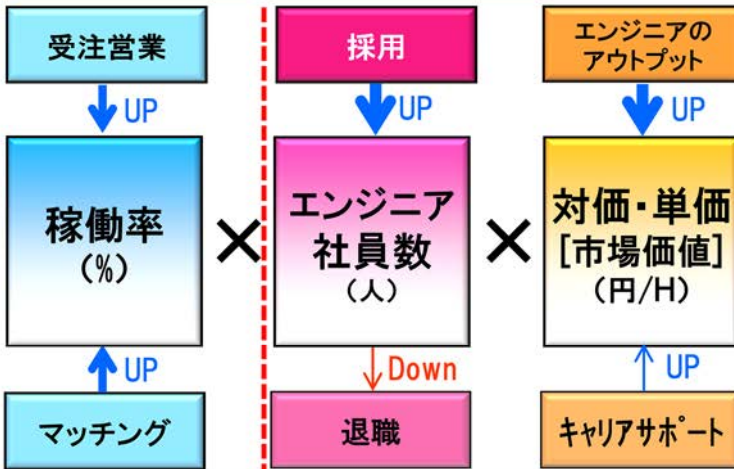
メイテックフィルダース (百万円)	'15年3月期 2Q実績	'16年3月期 2Q実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	'15年5月公表 2Q期初予想	予想比 増減額
売上高	5,753	6,386	+632	+11.0%	6,200	+186
売上原価	4,453	4,965	+511	+11.5%	4,800	+165
原価率	77.4%	77.7%	+0.3%		77.4%	+0.3%
販売管理費	813	873	+59	+7.4%	900	▲26
営業利益	486	547	+61	+12.6%	500	+47
営業利益率	8.5%	8.6%	+0.1%		8.1%	+0.5%
経常利益	486	548	+61	+12.6%	500	+48
税引前四半期純利益	486	548	+61	+12.6%		
四半期純利益	297	349	+52	+17.5%	300	+49
稼働率(全体)	93.4%	94.2%	+0.8%		92.6%	+1.6%
稼働時間(h/day)	8.99	8.90	▲0.09	▲1.0%	8.99	▲0.09
期末エンジニア社員数(名)	1,606	1,770	+164	+10.2%		

- メイテックフィルダース単体の業績概要です
- メイテック同様、稼働人員数の増加により、売上高は前年同期比11.0%増収の63億86百万円、営業利益は12.6%増益の5億47百万円、四半期純利益は17.5%増益の3億49百万円となりました。
- 新卒エンジニア社員の配属が上期中に全員完了し、稼働率は期初予想比+1.6%増加の94.2%となりました。
- メイテックフィルダースでも、稼働時間の低下が見られましたが、詳細については、のちほど説明させていただきます。

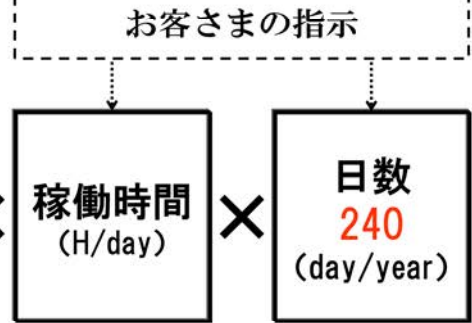
エンジニア派遣事業の売上高・原価の概要

- ✓ 高水準の「稼働率と対価」を維持・向上しながら、エンジニア社員数の増員が成長の鍵
- ✓ 稼働時間は重要指標の一つだが、当社グループではコントロール不可

企業努力でコントロール可能



コントロール不可



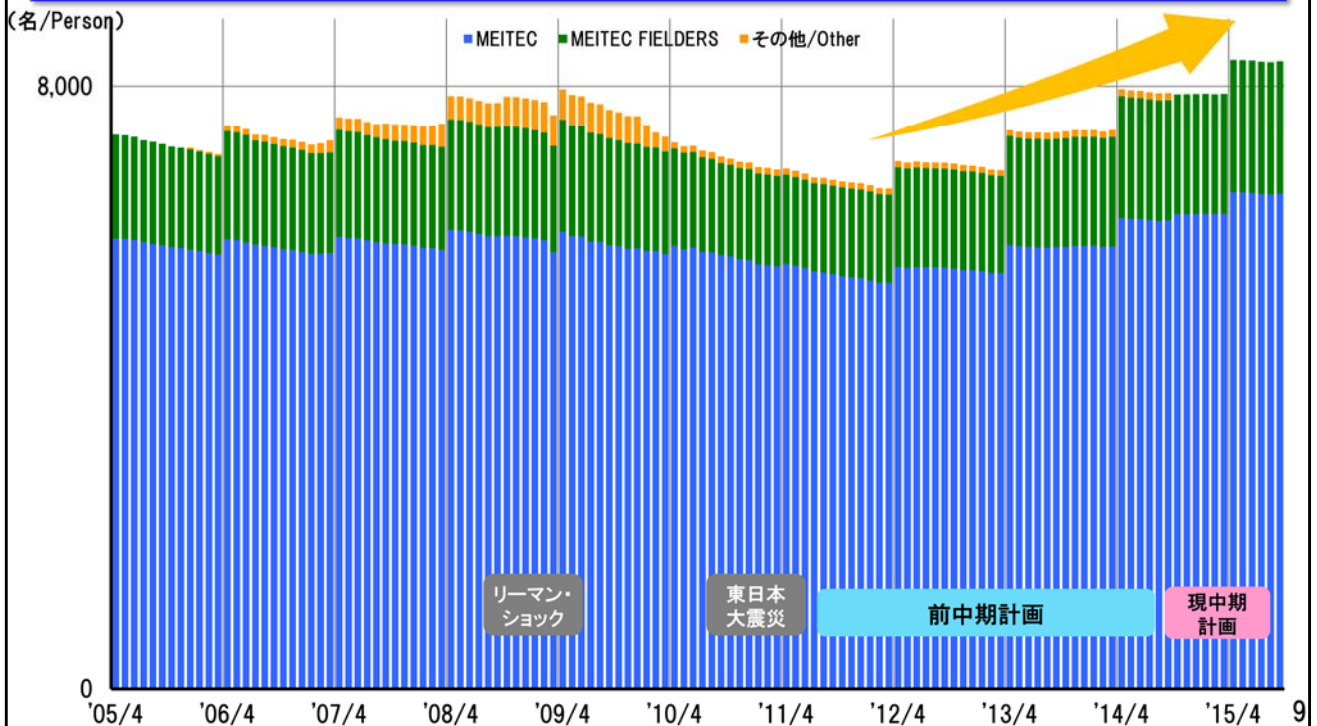
売上高

原価

- 無期雇用・正社員エンジニア派遣事業の売上高・原価の構成要素の概要です。
- 稼働率、エンジニア社員数、対価については、当社としてこれらをも高めるべく取り組んでいます。一方、稼働時間、日数については当社によるコントロールは不可であります。重要指標として注視しています。
- この上半期は、「企業努力でコントロール可能」な指標は順調でしたが、「コントロール不可」の稼働時間が懸念材料となりました。

エンジニア社員数 グループ連結

✓ 9月末のエンジニア社員数は8,333名(前年9月末比+424名、+5.4%)



- 企業努力の結果が表れる、グループのエンジニア社員数の推移です。
- 2015年9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+424名、+5.4%増の8,333名となりました。
- メイテック、メイテックフィルダーズ共にリーマンショック以降、確実に増員されています。
- グループ全体で、オーガニックな増員がおおむね順調に進んでいます。

エンジニア社員数 メイテック

- ✓ 9月末エンジニア社員数は6,563名(前年9月末比+354名、+5.7%)※CAE合併含む
- ✓ 2017年3月末エンジニア社員数の目標6,800名まで約240名



- 続いて、メイテック単体のエンジニア社員数の推移です。
- 9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+354名、+5.7%増の6,563名となりました。
- 中期計画で掲(かか)げた、2017年3月末のエンジニア社員数の目標6,800名まであと約240名です。
- 新卒採用とキャリア採用を両輪で行ってござりまして、従前のように4月に新入社員が入り、期末に向けて下降していくノコギリ型から、確実にキャリア採用を行いながら年間を通して増員が図れる状態がつかれています。
- 採用市場につきましては、依然として、厳しい採用環境が続いていますが、メイテックグループというブランドを構築しつつ、様々な工夫を凝らしながら、エンジニア社員数の増員を進めています。

エンジニア社員数 メイテックフィルダーズ

- ✓ 9月末エンジニア社員数は1,770名(前年9月末比+164名、10.2%)
- ✓ 2017年3月末エンジニア社員数の目標1,900名まで130名



- メイテックフィルダーズ単体のエンジニア社員数の推移です。
- 9月末のエンジニア社員数は、前年9月末比+164名、+10.2%増の1,770名となりました。
- 中期計画で掲(かか)げた2017年3月末のエンジニア社員数の目標1,900名まであと130名です。

採用の状況

中途採用(2016年3月期)の状況

- ✓ エンジニア採用市場の採用意欲は高まりつづけ、求人数の増加、採用基準の緩和、応募者希望に沿う条件(勤務地等)提示など、採用環境は過熱状態
- ✓ こうした状況下、受注動向に即した機械系・電気電子系を中心に、採用基準を保持し、円滑な配属を前提とした活動を継続中
- ✓ 中途採用者数は、グループ全体でほぼ計画通りに進行中⇒採用目標は変更しない
(前年度は期中に目標を引き下げた)

新卒採用(2016年4月入社)の状況

- ✓ 求人企業数、各社毎の募集人数の増加に加え、選考スケジュール変更による採用期間の長期化や前年の手法が通用しない手探りの厳しい環境
- ✓ 応募者確保に工夫を凝らしながら、採用基準の保持を前提に活動
- ✓ 内定者数は、期初予想比メイテックでは+22名、メイテックフィルダーズは▲17名、グループ合計で+5名

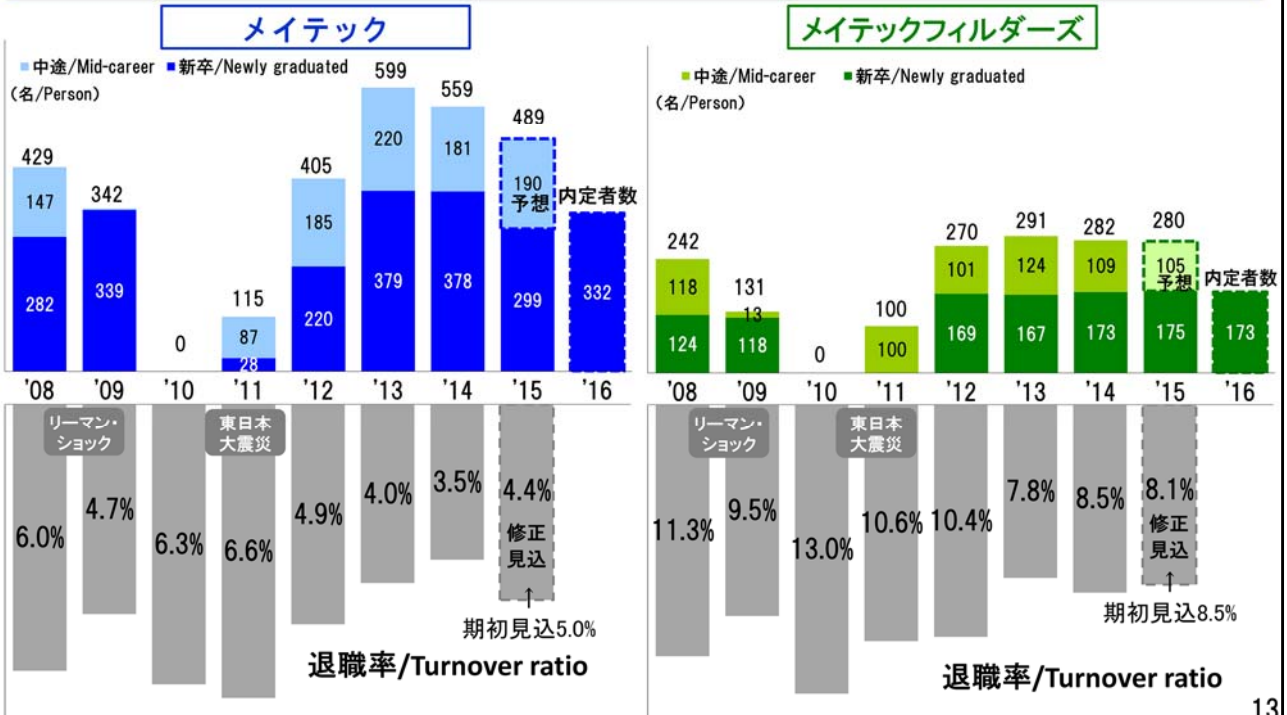
(名)	2016年3月期				2017年3月期		
	15年4月入社 新卒採用数 (実績)	中途採用数 〈目標〉	期初予想比	採用数合計 〈目標〉	期初予想比	16年4月入社 新卒採用数 (10月1日内定者数)	期初予想比
メイテック	299	190	—	489	—	332	+22
メイテック フィルダーズ	175	105	—	280	—	173	▲17
合計	474	295	—	769	—	505	+5
15年3月期比	▲77	+5		▲72			

12

- 採用の状況です。
- まず、中途採用の状況ですが、エンジニア採用市場の採用意欲は高まり続けており、採用環境はますます加熱した状態です。しかし、上半期はほぼ計画通りに採用が進行したため、年間の採用目標の変更は行いません。引き続き、「質を重視」し、採用基準を保持しながら、採用に注力します。
- 次に、来年4月入社の新卒採用の状況です。求人企業数や募集人数の増加に加え、採用期間の長期化など、厳しい環境でした。応募者確保に工夫を凝らして活動した結果、10月1日の内定者数は、期初目標比グループ全体で+5名の505名となりました。
- 内定者数505名の水準は、新聞報道によると、日本企業全体では29位、理工系だけでは3位でした。
- メイテックであれば、安心してプロのエンジニアとして生涯働き続けられるということが、採用市場において、一定のご理解と共感を得ている一つの成果と考えています。

採用と退職

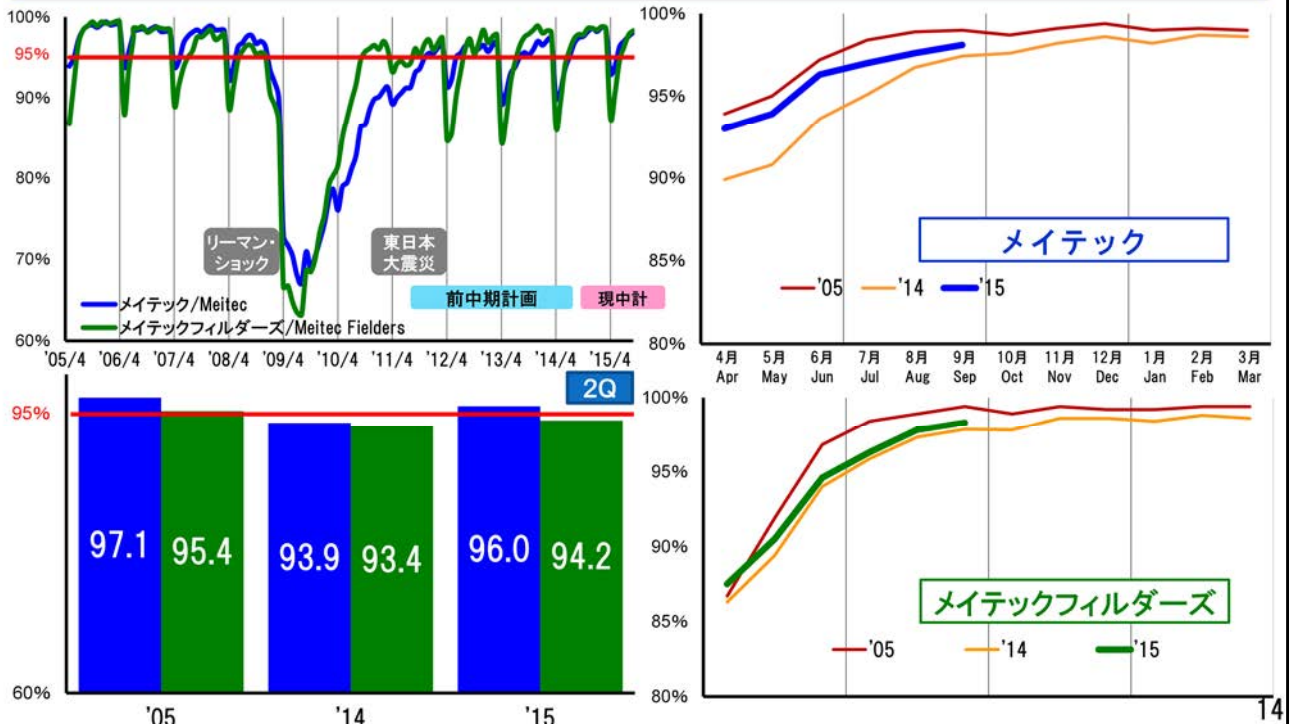
✓ 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率の見込みは以下の通り
※ 採用率・退職率の実績は来年5月に公表予定



- 第2四半期決算公表時点の採用者数と退職率の見込みです。
- 退職率の見込みは、上半期実績を反映し、メイテックは期初予想の5.0%から4.4%へ、メイテックフィルダースは期初予想の8.5%から8.1%に修正しました。

稼働率

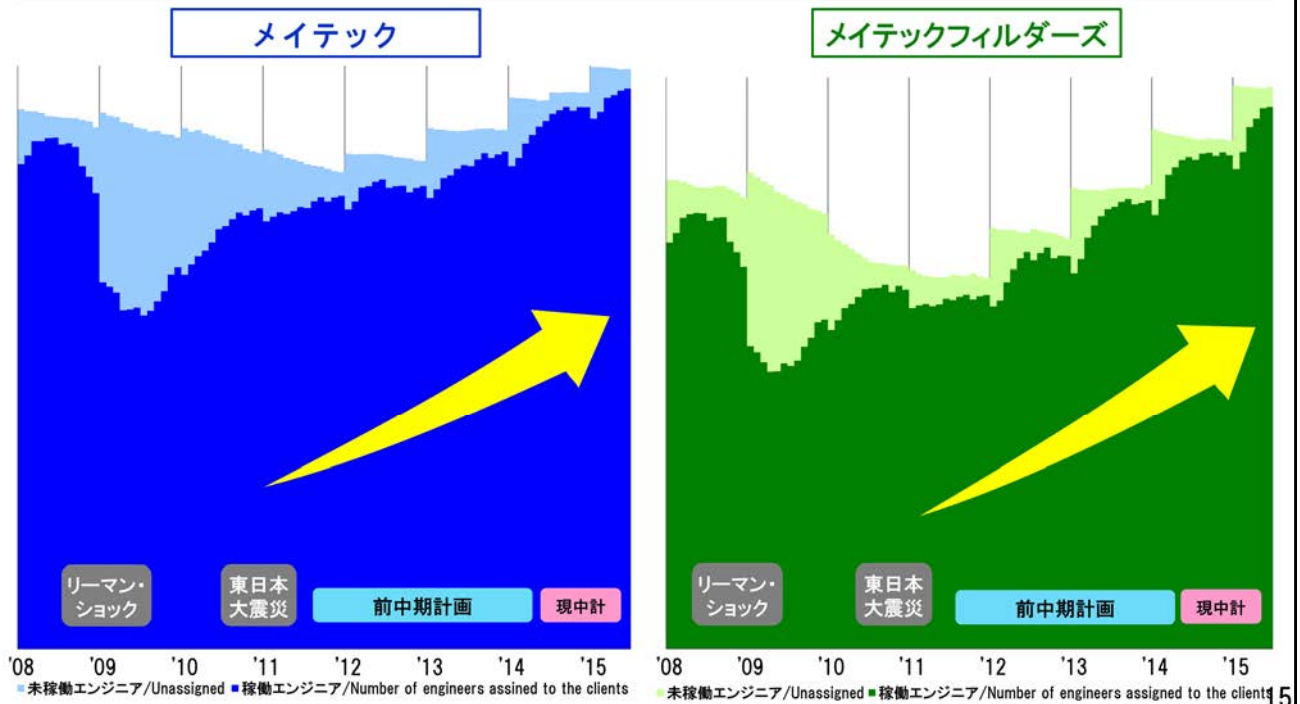
✓ 新卒入社エンジニアの稼働が期初計画より順調に進み、また、既存エンジニアの稼働にも注力した結果、前年同期の実績を上回った



- 稼働率の推移です。
- メイトック、メイトックフィルダース共に、堅調な受注環境の下、新卒エンジニア社員、既存エンジニア社員共に順調に配属を進められたことから、前年同期比を上回って推移しました。
- なお、メイトックは新卒エンジニア社員数が前年よりも約80名ほど少なかったこともあり、4月単月の稼働率は、前年よりも高い数値でスタートしています。

稼働人員数(売上の主要素)

- ✓ 積極採用による「エンジニア社員数の増員」、受注獲得と早期配属による「高稼働の維持」を両立し、稼働人員数を着実に伸長

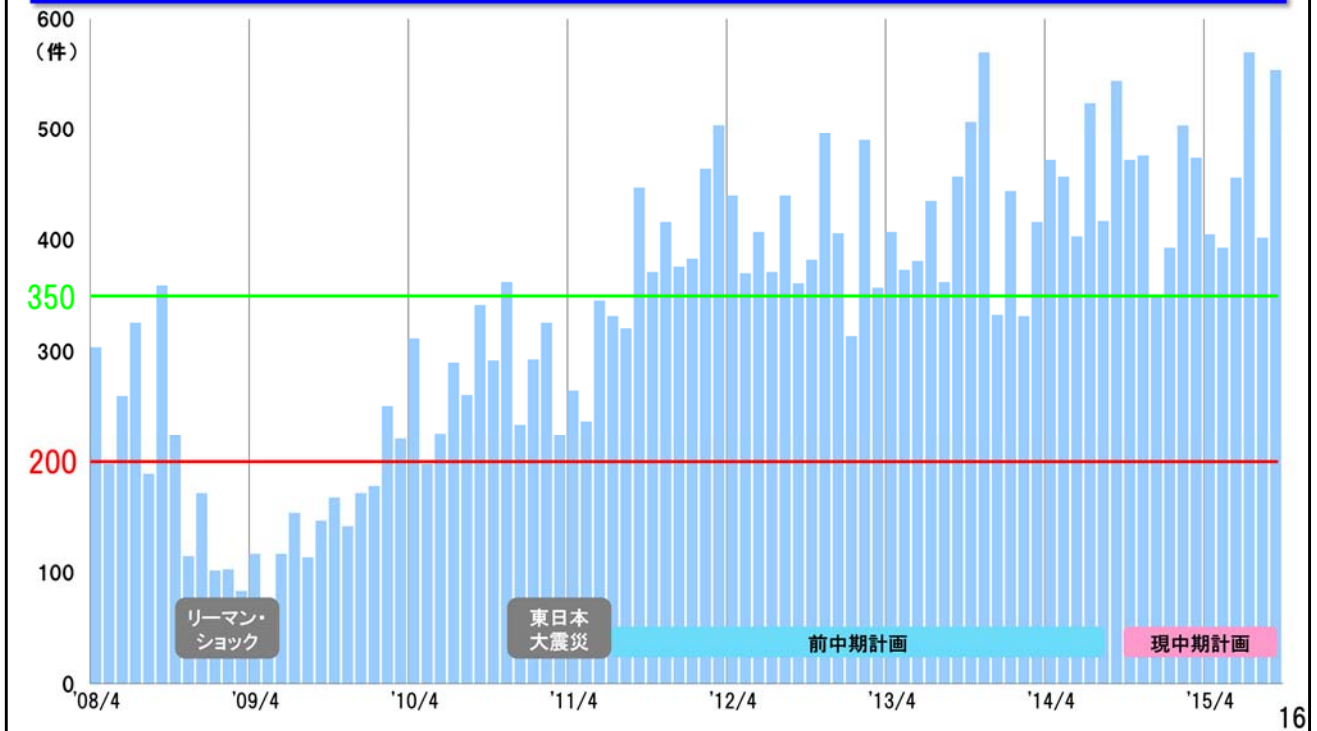


- 稼働人員数の推移です。
- 「エンジニア社員数の増員」×「高い稼働率の維持」が達成できたため、稼働人員数は順調に伸びています。
- 今後も継続して、エンジニアのキャリアアップにつながる受注案件を獲得し、ローテーションを回りつつ、早期配属に努めます。

月間新規受注

✓ メイトック単体の月間新規受注は、堅調と見ている350件/月を超える水準を維持

注：新規受注の内訳(業種、お客さま、など)は公表を差し控えます

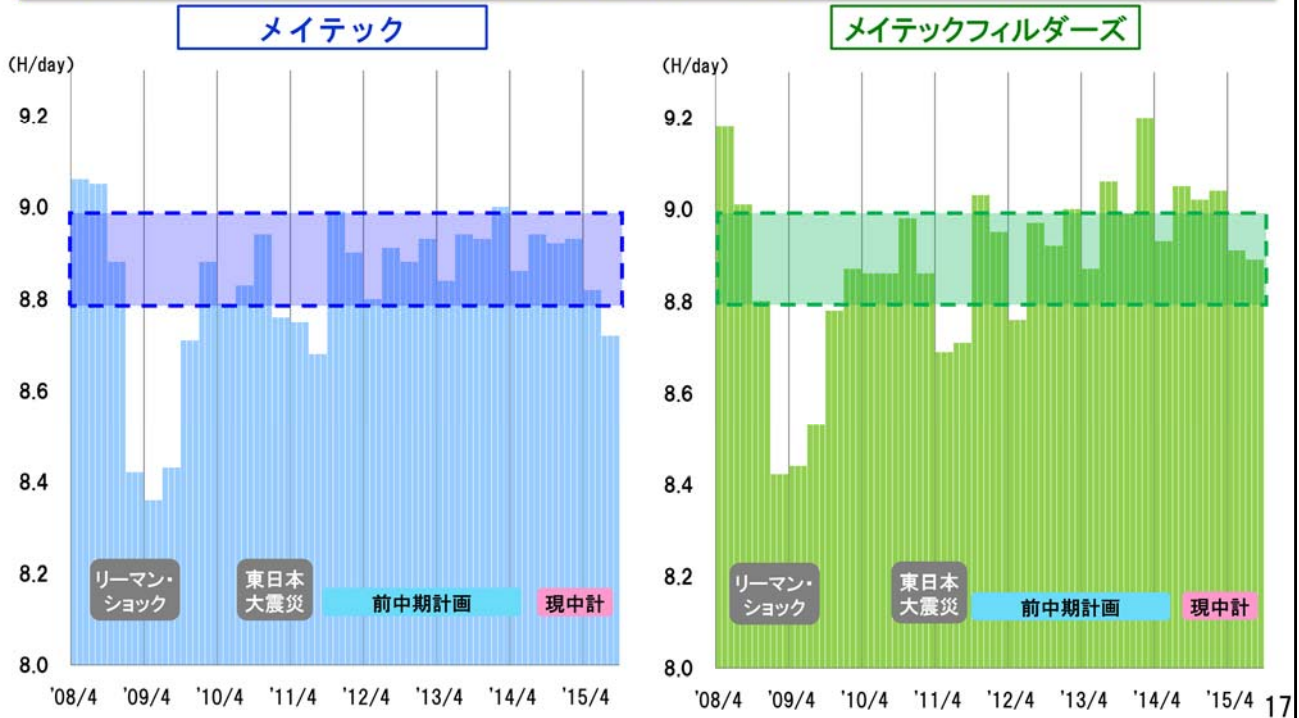


- 月間新規受注動向の推移です。
- 月間350件を超える新規受注件数をいただければ堅調、200件を下回る水準は危険な状態、と判断してきました。
- 足元は、製造業のお客さまが長い視点で技術開発投資を進められていると認識しています。

稼働時間

- ✓ 稼働時間は一部顧客での時間外労働の減少等を背景に前年比で低下
- ✓ 大きなリスクと見ていないが、今後の見通しは修正が必要

注：当社でコントロール不可

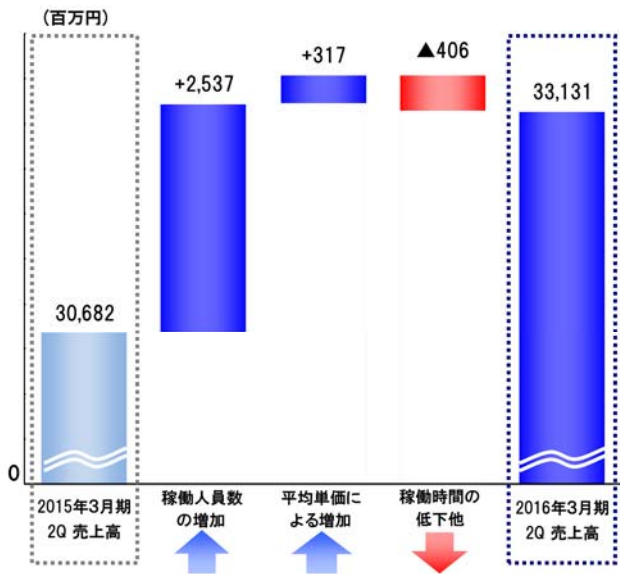


- 稼働時間の推移です。
- 稼働時間の0.1時間は売上高の約1%に該当しますので、業績影響の大きい指標の一つです。
- しかし、稼働時間は、お客さま先の業務指示の結果なので、当社側でコントロールは不可能です。
- 特に7月～9月の2Qの稼働時間が前年同期比で低下しました。
これは、一部顧客での時間外労働の減少が主に影響しています。
- 稼働時間の低下を大きなリスクとは見ていませんが、社会的要請等を踏まえると、今後の見通しについては修正が必要と考えました。

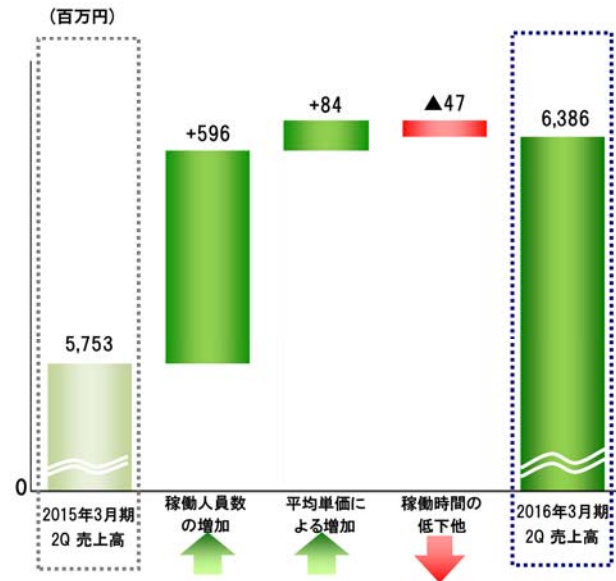
売上高前年同期比較

- ✓ 前年同期比で増収の主要因は「稼働人員数の増加」で、その影響は以下の通り
- ✓ なお、稼働時間の低下他による減収影響は以下の通り→下半期の前提を見直す

メイテック



メイテックフィルダーズ



18

- メイテック、メイテックフィルダーズの単体売上高の増減内訳です。
- 両社ともに増収の主な要因は、「稼働人員数の増加」であり、その影響額は記載の通りです。
- 稼働時間の低下他の状況を踏まえ、下半期の前提条件の見直しを行いました。
- 前提条件の見直しについては、のちほど、業績予想の見直しと併せて説明いたします。

特別損益の概要

- ✓ 前2Qに利用を停止した4つの研修施設は売却方針 → これまでに全物件で契約済み
- ✓ そのうち2物件は売買手続きも完了し、約10億円の売却益を計上
- ✓ 残る2物件も今期中に売買手続きを完了できる見込み→今後の損益は±0の見通し

(百万円)



研修施設	前2Qの減損	売却状況	損益
神戸テクノセンター	1,895	完了	[合計:約10億円] (実績) 売却益 1,084 減損 ▲25 (今後の見通し) 損益 ±0
日進テクノセンター	589		
厚木テクノセンター 社員寮	770	契約済	
名古屋EOC・メカトロC	202		



19

- 特別損益(そんえき)の概要です。
- 前期は研修施設等の利用停止により、約35億円の減損損失を計上した後、全4物件を売却する方針としました。
- この上半期中に、全4物件の売却が確定しました。神戸テクノセンター、日進テクノセンターの2物件は、既に売却を完了し、約10億円の売却益を計上しました。残り2物件も契約済みで、年度内で売却手続きを完了する見込みです。
- なお、今後の特別損益(そんえき)は、ほぼゼロです。

お客さまの売上高TOP10

✓ メイトック単体のお客さまの売上高TOP10は以下の通りです

注：具体的計数の公表は差し控えます

(百万円)

2011年3月期2Q (2010年度)			2015年3月期2Q (2014年度)			2016年3月期2Q (2015年度)		
1	パナソニック 様		1	三菱重工業 様		1	キヤノン 様	
2	三菱重工業 様		2	キヤノン 様		2	三菱重工業 様	
3	キヤノン 様		3	デンソー 様		3	デンソー 様	
4	ニコン 様		4	パナソニック 様		4	パナソニック 様	
5	ソニー 様		5	ニコン 様		5	ニコン 様	
6	デンソー 様		6	川崎重工業 様		6	川崎重工業 様	
7	トヨタ自動車 様		7	トヨタ自動車 様		7	オムロン 様	
8	川崎重工業 様		8	オムロン 様		8	ソニー 様	
9	セイコーエプソン 様		9	東芝 様		9	三菱航空機 様	
10	ダイキン工業 様		10	ソニー 様		10	トヨタ自動車 様	
トップ10社合計	7,205	31.7%	トップ10社合計	7,986	26.0%	トップ10社合計	8,517	25.7%
トップ20社合計	9,601	42.3%	トップ20社合計	11,210	36.5%	トップ20社合計	11,855	35.8%
その他	13,098	57.7%	その他	19,472	63.5%	その他	21,276	64.2%
合計	22,698	100.0%	合計	30,682	100.0%	合計	33,131	100.0%

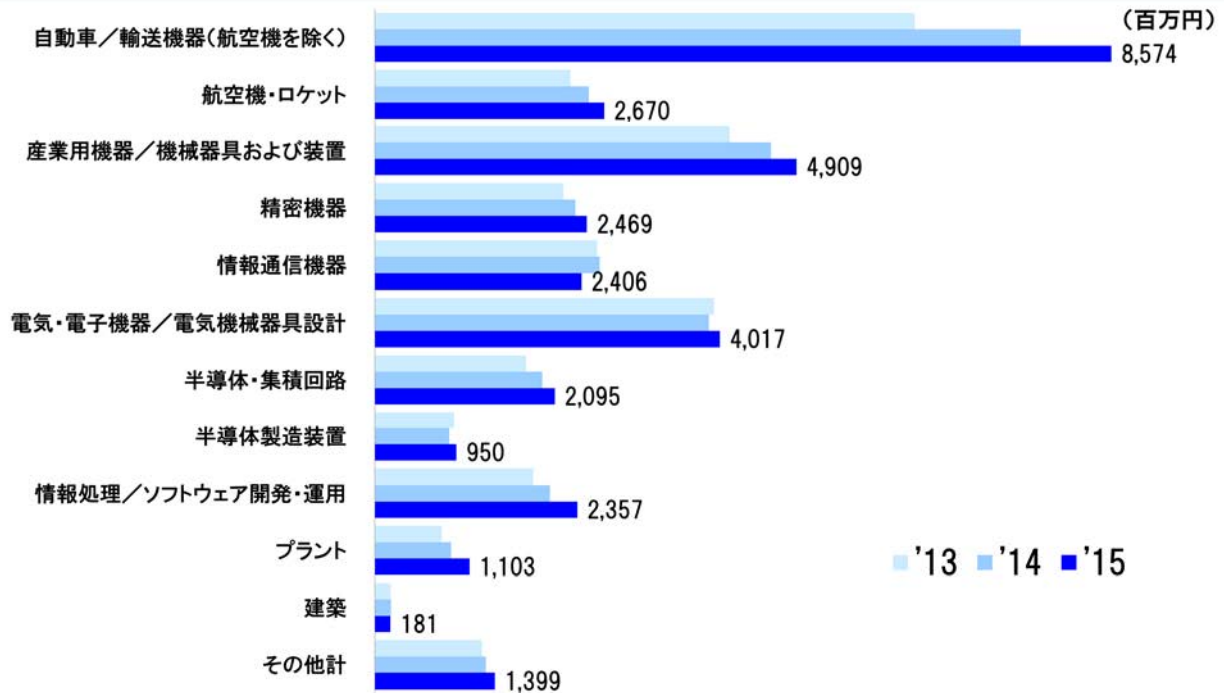
20

- メイトックのお客さまの売上TOP10です。
- 順位に変動はありますが、TOP10圏内に入るお客さまに大きな変化は見られません。
- なお、TOP10の占有率は減少傾向にあります。意図して、成長セクター、新しい技術領域にエンジニアをシフトしていった結果であり、このように意識的にローテーションできるということは、特定のお客さまに偏(かたよ)らずに、幅広くサービスを展開してきた結果であり、メイトックの強みの一つです。

業種別の売上

✓ メイトック単体の業種別の売上高は以下の通りです。

注：計数は「ご参考資料」に掲載。お客さま別内訳や見通しは公表を差し控えます。



- 業種別の売上高推移です。
- 前年度に引き続き、「自動車関連」の伸びが顕著です。また、「産業用機器関連」の伸びも顕著に表れています。
- 広い分野や業種のお客さまと取引して頂いているからこそ、特定の分野や業種が厳しい状況でも、意図的にエンジニアをシフトすることができる、まさしく、アベノミクスの成長戦略の一つである、成長セクターに対する人材の流動化、「失業なき円滑な労働移動」が、当社の事業の中で実現できている状況です。

2. 2016年3月期 業績予想



- 2016年3月期業績の予想の修正内容などを説明します。

✓2015年度は足元の状況を踏まえて、業績予想を修正
✓エンジニア社員数の増加目標や収益率目標は未だ達成していないため中期計画は見直さない

グループ連結	2014年度実績	2015年度予想	2016年度目標
売上高	(期初790) 821億円	(期初860) 864億円	880億円
営業利益	(77) 95億円	(98) 100億円	100億円
営業利益率	(9.7%) 11.6%	(11.4%) 11.6%	12%以上
当期純利益	(49) 36億円	(70) 76億円	60億円
R O E	9.9%	(19%) 20%	15%以上
メイテック			
売上高	(期初615) 646億円	(期初678) 679億円	680億円
営業利益	(63) 79億円	(82) 84億円	85億円
営業利益率	(10.2%) 12.3%	(12.1%) 12.4%	13%以上
メイテックフィルダーズ			
売上高	(期初114) 119億円	(期初128) 130億円	135億円
営業利益	(9) 10億円	(11) 11億円	13億円
営業利益率	(7.9%) 9.0%	(8.6%) 8.5%	9.5%程度

23

- まず、2015年度の業績予想は足元の状況を踏まえて期初予想を修正しました。
- その収益水準は、中期計画3年目の目標にかなり近づきましたが、エンジニア社員数の増加目標や収益率目標は未だ到達していません。
- したがって、現時点で中期計画は見直さないものの、1年半後にスタートを予定する、次の中期計画で、より高い目標を掲げられるよう、着実に現計画を押し進めてまいります。

- ✓ 堅調な受注環境の持続を前提に、足元の動向を踏まえて、業績予想修正
- ✓ 売上高:864億円(前期比+5.2%)、営業利益:100億円(+4.8%)
 経常利益:100億円(+3.7%)
 当期純利益:76億円(特別損益の影響により、前期比+107.7%)

グループ連結 (百万円未満切捨て)	'16年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	86,400	+4,263	+5.2%	42,143	44,257	+1,421	+3.3%
売上原価	63,800	+3,318	+5.5%	31,321	32,479	+1,364	+4.4%
販売管理費	12,600	+485	+4.0%	6,077	6,523	+350	+5.7%
営業利益	10,000	+459	+4.8%	4,744	5,256	▲292	▲5.3%
営業利益率	11.6%	▲0.0%		11.3%	11.9%	▲1.1%	
経常利益	10,000	+356	+3.7%	4,723	5,277	▲353	▲6.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,600	+3,940	+107.7%	3,798	3,802	+336	+9.7%
1株当たり当期純利益(EPS)	250.95	+130.83		125.43			

- 堅調な受注環境が持続する前提で、エンジニア派遣事業における主要指標を、足元の動向も踏まえて修正し、年間の連結業績予想を修正しました。
- 新たな連結業績の予想ですが、売上高は前期比+5.2%の864億円、営業利益は前期比+4.8%の100億円へ修正しました。
- 売上高は過去最高を更新できる見込みです。
- 当期純利益は76億円の予想へ修正しました。
- 前期比の増益率が+107.7%と大きくなりましたが、先ほど説明した特別損益(そんえき)の大幅な改善という特殊要因です。
- なお、当期純利益も過去最高を更新できる見込みです。

- ✓ 売上高は期初予想比で、年間+4億円(+0.5%)=上半期+約4億円、下半期ほぼ±0
- ✓ 営業利益は期初予想比で年間+2億円(+2.0%)=上半期+4億円強、下半期▲2億円強
→ 販売管理費の費消が、一部で上期計画から下期にズレた影響が主因
- ✓ 当期純利益: 期初予想比で年間+6億円(+8.6%)=上半期+約5億円、下半期+約1億円

グループ連結 (百万円未満切捨て)		'16年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率
売上高		86,400	+400	+0.5%	42,143	44,257	+57	+0.1%
	売上原価	63,800	+400	+0.6%	31,321	32,479	+179	+0.6%
	販売管理費	12,600	▲200	▲1.6%	6,077	6,523	+123	+1.9%
営業利益		10,000	+200	+2.0%	4,744	5,256	▲244	▲4.4%
	営業利益率	11.6%	+0.2%		11.3%	11.9%	▲0.6%	
経常利益		10,000	+200	+2.0%	4,723	5,277	▲223	▲4.1%
親会社株主に帰属する当期純利益		7,600	+600	+8.6%	3,798	3,802	+102	+2.8%

25

- 次に、新たな連結業績の予想と、5月に公表した期初予想との比較です
- 年間の売上高は、期初予想比+4億円で、上半期+4億円、下半期はほぼ±ゼロの内訳です。
- 下半期の売上高は、上半期の好調部分の持続が見込まれる好影響と、不安材料を織り込んだ悪影響が混ざりあい、結果として期初予想と同水準を見込む、という事です。
- 年間の営業利益は、期初予想比+2億円で、上半期+4億円強、下半期は▲2億円強の内訳です。これは、販売管理費の費消が、一部で上期計画から下期にズレた影響が主因です。
- なお、年間の当期純利益は、期初予想比+6億円で、上半期+約5億円、下半期+約1億円の内訳です。この当期純利益の修正幅が、営業利益の修正幅より拡大する要因は、前年度に引き続き、所得拡大促進税制の影響も織り込んでいます。

2016年3月期業績予想 メイトック 前期比

- ✓ 売上高は前期実績比で、稼働人員数の増加を主因に、年間+32.2億円(+5.0%)=上半期+24.5億円、下半期+7.7億円
- ✓ 当期純利益:70億円(特別損益の影響により、前期比+109.5%)

メイトック (百万円未満切捨て)	'16年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	67,900	+3,224	+5.0%	33,131	34,769	+775	+2.3%
売上原価	50,300	+2,442	+5.1%	24,758	25,542	+775	+3.1%
原価率	74.1%	+0.1%		74.7%	73.5%	+0.6%	
販売管理費	9,200	+308	+3.5%	4,444	4,756	+189	+4.1%
営業利益	8,400	+474	+6.0%	3,927	4,473	▲186	▲4.0%
営業利益率	12.4%	+0.1%		11.9%	12.9%	▲0.8%	
経常利益	8,900	+461	+5.5%	4,395	4,505	▲235	▲5.0%
当期純利益	7,000	+3,659	+109.5%	3,749	3,251	+83	+2.6%
稼働率(全体)	96.8%	+0.7%		96.0%	97.7%	▲0.6%	
稼働時間(h/day)	8.77	▲0.16		8.77	8.78	▲0.19	
採用数<名>	489	▲70		2016年4月入社の 新卒採用見込み数		15年4月 実績比	
新卒採用数	299	▲79					
中途採用数	190	+9					
退職率	4.4%	+0.9%		332		+33	

26

- メイトック単体の新たな業績予想です。
- 前期比では稼働人員数が増加していますので、年間の売上高は、前期比+5.0%、+32.2億円増収の679億円とし、増収の内訳は、上半期+24.5億円、下半期+7.7億円を見込んでいます。
- なお、下半期の増収幅が上半期より縮小するのは、稼働率が高い水準(上昇の余地が無い)にある中、下半期にはエンジニア社員数の大きな増員が見込めないためです。
- 年間の当期純利益は、前期比で大幅増益の70億円としましたが、先ほどの特別損益(そんえき)関連の特殊要因が含まれます。

2016年3月期業績予想 メイテック 期初予想比

- ✓ 売上高は期初予想比で年間+1億円(+0.1%)=上半期+約1億円、下半期±0(期初予想通り)
→ 期初予想比、「稼働率の高さ」の好影響と「稼働時間の低下」の悪影響とで±0を見込む
- ✓ 営業利益は期初予想比で、年間+2億円(+2.4%)=上半期+約3億円、下半期▲約1億円
→ 販売管理費の費消で、上期計画が下期にズレた影響が主因

メイテック (百万円未満切捨て)	'16年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率
売上高	67,900	+100	+0.1%	33,131	34,769	▲31	▲0.1%
売上原価	50,300	—	+0.0%	24,758	25,542	+42	+0.2%
原価率	74.1%	▲0.1%		74.7%	73.5%	+0.2%	
販売管理費	9,200	▲100	▲1.1%	4,444	4,756	+56	+1.2%
営業利益	8,400	+200	+2.4%	3,927	4,473	▲127	▲2.8%
営業利益率	12.4%	+0.3%		11.9%	12.9%	▲0.4%	
経常利益	8,900	+200	+2.3%	4,395	4,505	▲95	▲2.1%
当期純利益	7,000	+500	+7.7%	3,749	3,251	+151	+4.9%
稼働率(全体)	96.8%	+0.6%		96.0%	97.7%	+0.6%	
稼働時間<h/day>	8.77	▲0.15		8.77	8.78	▲0.15	
採用数<名>	489	—					
新卒採用数	299	—					
中途採用数	190	—					
退職率	4.4%	▲0.6%					
				2016年4月入社の新卒採用見込み数		332	期初予想比 +22

27

- 次に、新たな業績の予想と、5月に公表した期初予想との比較です。
- 年間の売上高は、期初予想比+1億円で、上半期+1億円、下半期はほぼ±ゼロの内訳です。
- 下半期の売上高は、「期初予想より高い稼働率の持続」を見込んだ好影響と、「期初予想を下回った稼働時間」を織り込んだ悪影響が混ざりあい、結果として期初予想と同水準を見込む、という事です。
- なお、年間の退職率見通しは、実績を踏まえて引き下げました。
採用環境が厳しい中で、エンジニア社員数の増員に対し、プラスの効果となりますので、今後もエンジニアの満足度向上への取り組みを実直(じっちゃん)に続けて参ります。
- 年間の営業利益は、期初予想比+2億円で、上半期+3億円、下半期は▲1億円強の内訳ですが、販売管理費の費消が上期計画から下期にズレた影響が主因です。

2016年3月期業績予想 メイテックフィルダース`前期比

✓ 売上高は前期実績比で、稼働人員数の増加を主因に、
年間+10.9億円(+9.1%)=上半期+6.3億円、下半期+4.6億円

メイテックフィルダース (百万円未満切捨て)	'16年3月期 公表予想	前期比 増減額	前期比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	13,000	+1,088	+9.1%	6,386	6,614	+456	+7.4%
売上原価	10,100	+945	+10.3%	4,965	5,135	+434	+9.2%
原価率	77.7%	+0.8%		77.7%	77.6%	+1.3%	
販売管理費	1,800	+117	+7.0%	873	927	+57	+6.6%
営業利益	1,100	+26	+2.4%	547	553	▲34	▲5.8%
営業利益率	8.5%	▲0.6%		8.6%	8.4%	▲1.2%	
経常利益	1,100	+25	+2.3%	548	552	▲35	▲6.0%
当期純利益	700	+51	+7.9%	349	351	—	+0.0%
稼働率(全体)	95.7%	▲0.3%		94.2%	97.2%	▲1.3%	
稼働時間<h/day>	8.93	▲0.11		8.90	8.96	▲0.12	
採用数<名>	280	▲2		2016年4月入社の新卒採用見込み数		15年4月実績比	
新卒採用数	175	+2					
中途採用数	105	▲4					
退職率	8.1%	▲0.3%		173		▲2	

28

- メイテックフィルダースの新たな業績予想です。
- 前期比では稼働人員数が増加していますので、年間の売上高は、前期比+9.1%、+10.9億円増収の130億円とし、増収の内訳は、上半期+6.3億円、下半期+4.6億円を見込んでいます。
なお、売上高は過去最高を更新できる見込みです。
- 年間の稼働率は前期比▲0.3%の95.7%、下半期の稼働率は前期比▲1.3%の97.2%を前提とし、前年同期比で低下する見通しですが、これは従前の説明と同じです。
- 具体的には、既に稼働率が上限に近い水準へ達しているためであり、決して今年度の悪化を見通したものでは無く、通常の「配属と契約終了」の動向などを基にして数値を見込んだものです。

2016年3月期業績予想 メイテックフィルダース` 期初予想比

- ✓ 売上高は期初予想比で、年間+2億円(+1.6%)=上半期+約2億円、下半期ほぼ±0(期初予想通り)
- ✓ →メイテックと同様、「稼働率の高さ」の好影響と「稼働時間の低下」の悪影響とで±0見込み

メイテックフィルダース (百万円未満切捨て)	'16年3月期 公表予想	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率	2四半期累計 実績	下半期予想 3Q+4Q	期初予想比 増減額	期初予想比 増減率
売上高	13,000	+200	+1.6%	6,386	6,614	+14	+0.2%
売上原価	10,100	+200	+2.0%	4,965	5,135	+35	+0.7%
原価率	77.7%	+0.3%		77.7%	77.6%	+0.4%	
販売管理費	1,800	—	+0.0%	873	927	+27	+3.0%
営業利益	1,100	—	+0.0%	547	553	▲47	▲7.8%
営業利益率	8.5%	▲0.1%		8.6%	8.4%	▲0.7%	
経常利益	1,100	—	+0.0%	548	552	▲48	▲8.0%
当期純利益	700	—	+0.0%	349	351	▲49	▲12.3%
稼働率(全体)	95.7%	+0.8%	期初予想比	94.2%	97.2%	+0.1%	
稼働時間<h/day>	8.93	▲0.11	+1.6%	8.90	8.96	▲0.13	
採用数<名>	280	—					
新卒採用数	175	—					
中途採用数	105	—					
退職率	8.1%	▲0.4%					
				2016年4月入社の新卒採用見込み数	173	期初予想比	▲17

29

- 次に、新たな業績の予想と、5月に公表した期初予想との比較ですが、メイテックと、ほぼ同じ動きとなります。
- 年間の売上高は期初予想比+2億円で、上半期+2億円、下半期はほぼ±ゼロの内訳です。
- メイテックと同様に、下半期の売上高は、「期初予想を下回った稼働時間」の悪影響を織り込んだ結果、期初予想と同水準を見込む、という事です。
- なお、こちら、年間の退職率の見通しを引き下げました。

利益配分に関する基本方針

- ✓ 持続的な成長の実現を通じて、中長期的に株主還元の最大化を目指す
- ✓ 利益配分に関する当社の基本的な考え方は、業績に基づいた成果配分

2011年5月改訂
利益配分方針

総還元性向

100%以内を原則

配当

業績連動型配当

連結当期純利益の50%以上

最低限の配当

連結株主資本配当率(DOE)5%

自己株式の
取得・
保有・消却

自己株式の取得

月商3ヶ月分を上回る資金を自己株式取得原資

継続保有：上限2百万株

消却：上限超を消却

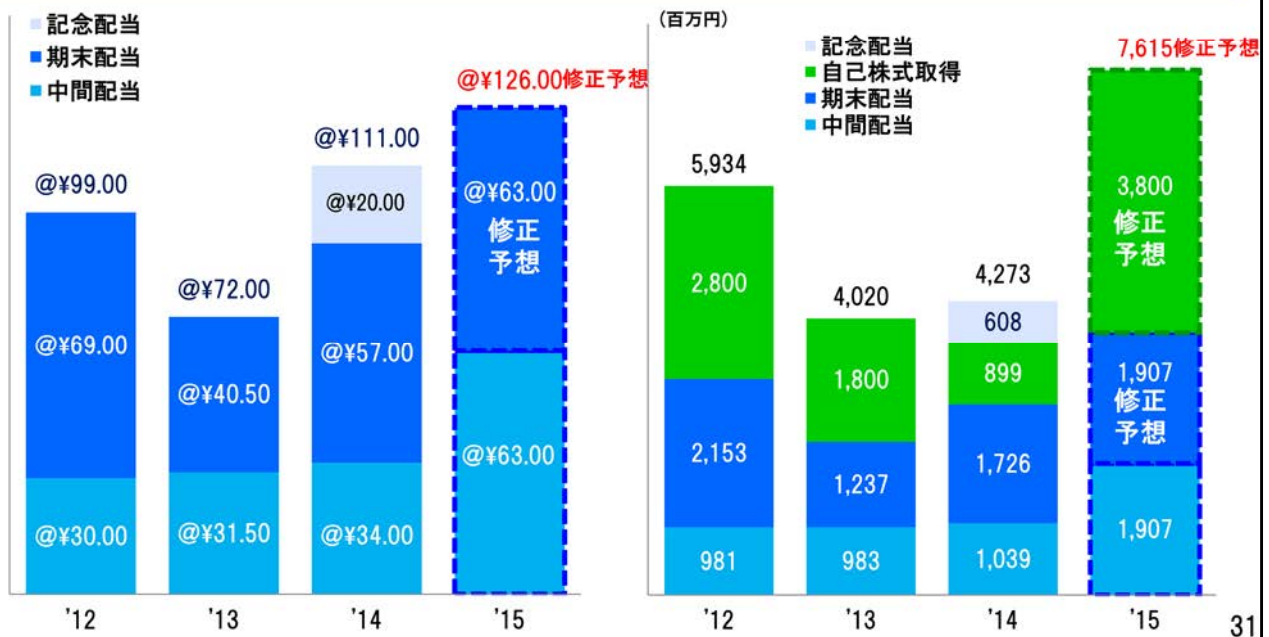
- ✓ 月商3ヶ月分＝「必要運転資金(ワーキングキャピタル):連結売上高の月商2ヶ月」+「財務基盤強化資金(2010年3月期に相当する危機的な市場環境になった際の事業継続資金):連結売上高の月商1ヶ月」
- ✓ 自己株式は、経営計画の目標達成等に向けて、今後の成長戦略の実行と成長に伴うリスクに対処していく機動的な財務政策を可能とするために保有

30

- 2011年5月に改訂した「利益配分の基本方針」は変更せず、維持する計画です。

利益配分の実績と予想～1/2

- ✓ 通期業績予想の上方修正と合わせて、利益配分の予想も上方修正
- ✓ 見直し後の利益配分は、通期で「普通配当(@126円、約38億円)と自己株式取得(38億円)」
総還元性向100%=(普通配当38億円+自己株式取得額38億円)÷当期純利益予想76億円



- 上半期の業績が予想を上回った事と年間業績予想を上方に修正したので、基本方針に従い、利益配分の予想も上方に修正しました。
- 修正後の利益配分は、当期純利益予想が76億円ですので、年間で「普通配当(@126円、約38億円)と自己株式取得(38億円)の合計76億円」の予想です。
- なお、配当と自己株式取得の配分は、投資家の皆さまとの対話で、配当を要望される方、自己株式取得を要望される方、それぞれ半々でしたので、配分は1:1とします。

利益配分の実績と予想～2/2

✓ 見直し後の利益配分の実績と予想の詳細は以下の通り

(百万円、@円)	2015年度					2014年度				
	修正予想 A	期初予想 B	期初予想比 A-B	前年度比 A-D:通常部分	前年度比 A-C	実績 C=D+E	D 通常部分	E 40周年記念		
親会社株主に帰属する当期純利益	7,600	7,000	+600	+3,940	+3,940	3,659	3,659			
総利益配分額	7,615	7,013	+602	+3,951	+3,342	4,273	3,664	608		
年間配当	配当総額	3,815	3,513	+302	+1,050	+442	3,373	2,765	608	
	1株当たり	@126.00	@116.00	+¥10.00	+¥35.00	+¥15.00	@111.00	@91.00	@20.00	
	第2四半期末	配当総額	1,907	1,650	+257	+869	+563	1,344	1,038	305
		1株当たり	@63.00	@54.50	+¥8.50	+¥29.00	+¥19.00	@44.00	@34.00	@10.00
	期末	配当総額	1,907	1,862	+45	+181	△121	2,029	1,726	302
		1株当たり	@63.00	@61.50	+¥1.50	+¥6.00	△¥4.00	@67.00	@57.00	@10.00
自己株式取得	取得金額	3,800	3,500	+300	+2,900	+2,900	899	899	対象外	
	(取得株数)	950,000株	未定		+681,300株	+681,300株	268,700株	268,700株		
総還元性向	100.2%	100.2%	+0.0%	+0.1%	▲16.6%	116.8%	100.1%			

32

- 見直し後の利益配分の実績と予想の詳細です。
補足で説明すると、前期は中間配当と期末配当にそれぞれ記念配当10円がありました。
- よって、利益配分の実質の増加は、記念配当を控除した額で比較して頂ければと思います。

- ✓ コーポレートガバナンスに関する基本方針の他、
役員の選任基準、社外役員の独立性基準、
投資家等との対話方針、を同時に制定
⇒当社ウェブサイト、東証宛の報告書により公表
(<http://www.meitec.co.jp/company/principal/governance.html>)
- ✓ コードの趣旨を踏まえて、「CEOと全社外役員のみ」の
協議を重ねて議論を深めました
- ✓ エクスプレインは3項目
(役員報酬、招集通知発送、内部通報体制)
⇒役員報酬は来年6月の株主総会までに方針等を見直す予定
※現在の役員報酬の概要
 - 個別の報酬額(月額)を開示済み
 - 業績連動報酬の総額は連結当期純利益の2%

- 最後に、コーポレートガバナンス・コードの対応です。
- 本日、コーポレートガバナンスに関する基本方針の他、
役員の選任基準などを公表しましたので、
のちほど当社ウェブサイトでご覧いただくと幸いです。
- 方針の策定に際し、コードの趣旨を踏まえて、
「CEOと全社外役員のみ」の協議を重ねて議論を深めました。
- 社外役員の方々からは、積極的に、そして大変貴重な、
ご意見やご指摘を多数頂きました。
- コーポレートガバナンスの実効性を高めるために、
体制は重要だ、と改めて認識した次第です。
今後も実効性を高められるよう、鋭意努力を続けて参ります。
- 私からの説明は以上です。
今後も皆様のご期待に応え続けられるよう、努力して参ります。
引き続き、ご理解、ご支援の程、宜しくお願い致します。
ご清聴、ありがとうございました。

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

IRに関するお問い合わせ

Tel : 03-5413-0131 Mail : ir@meitec.com

<http://www.meitec.co.jp>

〈ご注意〉

本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

3. ご参考資料

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ



一社でも多くのお客さまに、
一人でも多くのエンジニアに、
メイテックグループを活用いただき、
感動や喜びを実感できる
「機会と場」の拡大を目指します。

メイテックグループの特色

1. 正社員エンジニアの派遣業界最大手

〈業界最大の取引 & 業界最高の品質、先駆者〉

2. 日本最大規模の「プロのエンジニア集団」

〈生涯プロエンジニア®を輩出するプラットフォーム〉

3. お客さまは、約1,000社の日本の大手製造業

〈創業以来、40年間で、延べ4,000社超〉

✓ 中期計画のスタートに先立ち、「グループの目指すべき姿」(ビジョン)を見直し
→ 従前の4つ(社員・顧客・株主・社会)の価値から、下記の5つの価値へ修正

〔経営理念〕
共生と繁栄

〔コーポレートスローガン〕
人と技術で次代を拓く

顧客価値
すべてのお客さまから信頼される
ベストパートナーを目指し、
最適な「人と技術」のサービスを
提供し続けます

社会価値
生涯プロエンジニアという働き方の
確立を通じて、日本に
「プロフェッショナルな労働市場」を
創り出す先駆者になります

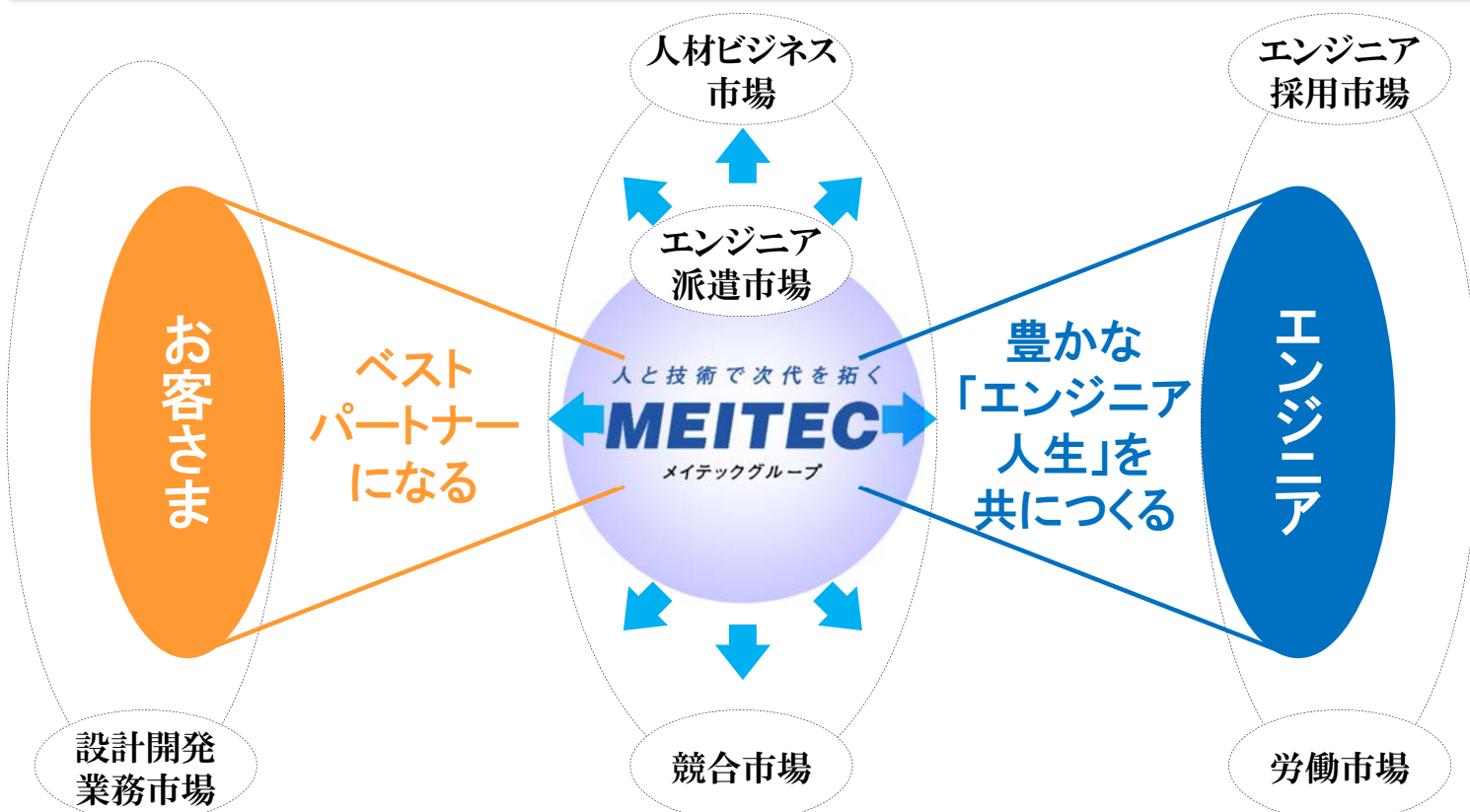
私たちメイテックグループは、
全社員がつながりあい、
エンジニア価値を起点として、
5つの価値を
持続的に向上させます

エンジニア価値
豊かな「エンジニア人生」を目指す
すべてのエンジニアに対して、
最適な「機会と場」を
提供し続けます

社員価値
「自立と支えあい」に共感し、
プロフェッショナルとして成長し続ける
社員に対して、最適な「機会と場」を
提供し続けます

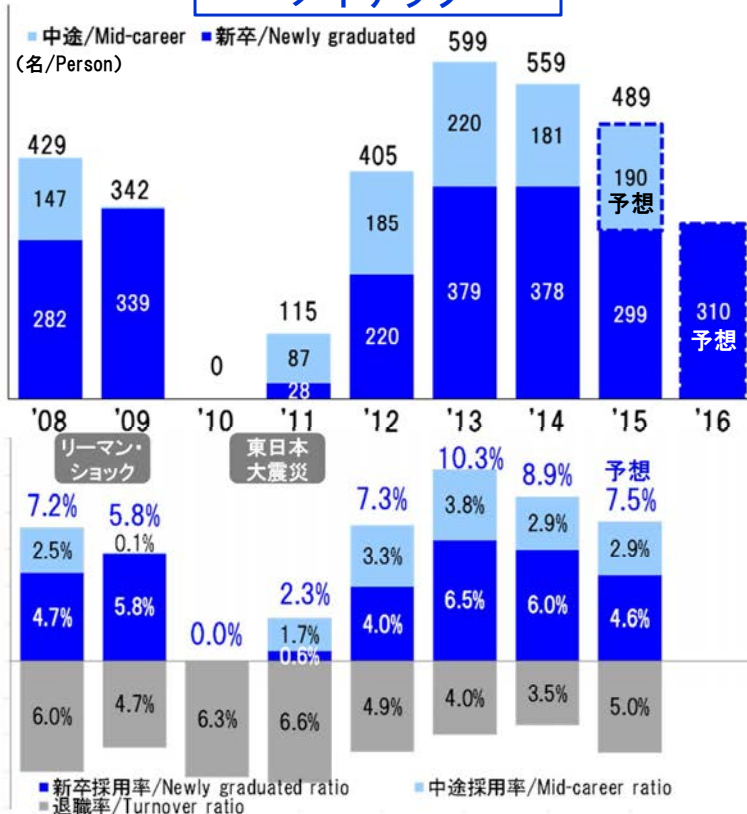
株主価値
持続的な価値向上に基づく
「健全な利益」を創出し、
中長期的に株主還元を最大化します

✓ 経営理念・コーポレートスローガンの再確認、「目指すべき姿」の見直しを経て、
グループによるサービス提供先への提供価値を明文化した事業方針を確定

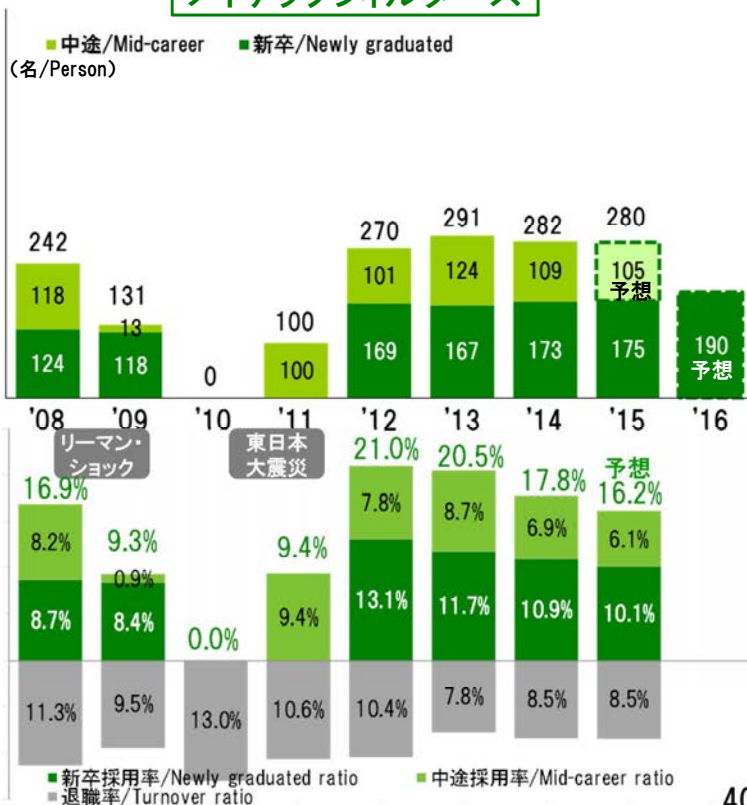


- ✓ 参考として期初予想を掲載(2015年5月公表資料)
- ✓ この資料の計数は、通期業績を公表する際、お知らせします。

メイテック



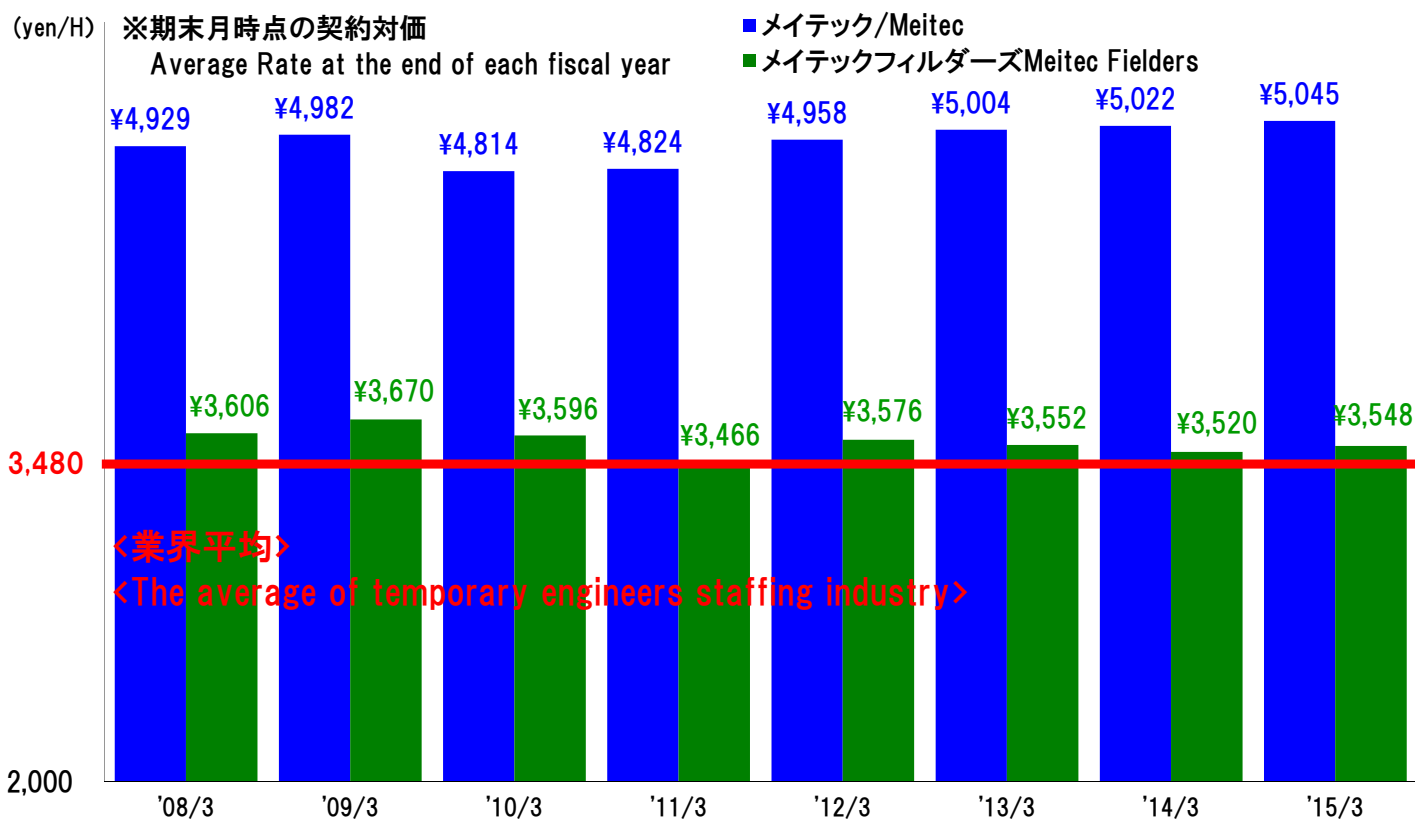
メイテックフィルダース



40

対価・単価(・レート)=[市場価値]

- ✓ 再掲(2015年5月公表資料)
- ✓ この資料の計数は、通期業績を公表する際、お知らせします

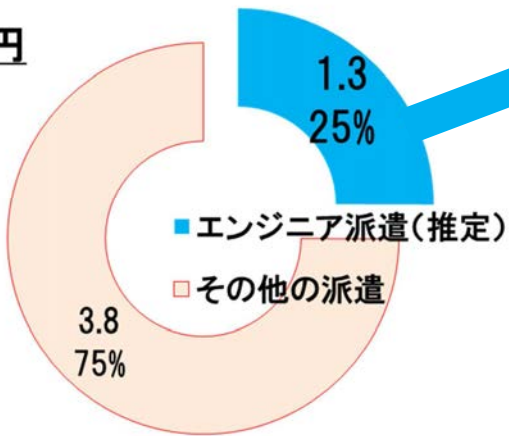


41

- ✓ エンジニア派遣市場のメイテックグループのシェアは推定5%強
- ✓ メイテックの時間単価の高さは突出 → エンジニアの「技術力×人間力」が高い

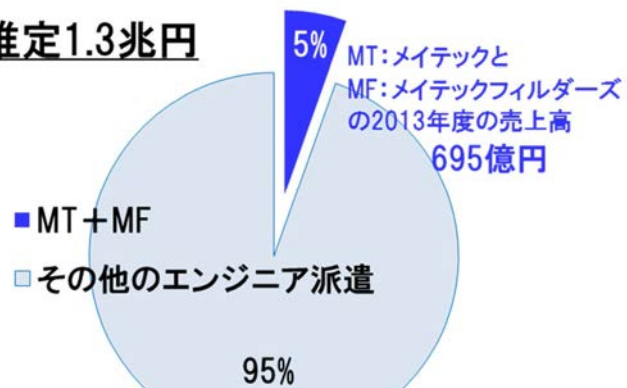
2013年度の労働者派遣事業・売上高

5.1兆円



エンジニア派遣市場(推定)

推定1.3兆円

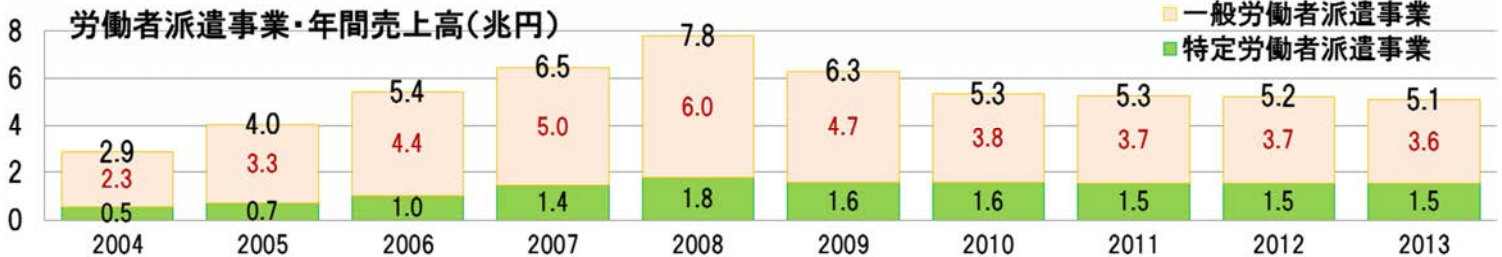


メイテック
@¥5,004
(2013年3月)

エンジニア派遣
@¥3,480
(推定)

特定派遣
@¥2,960

一般派遣
@¥2,127

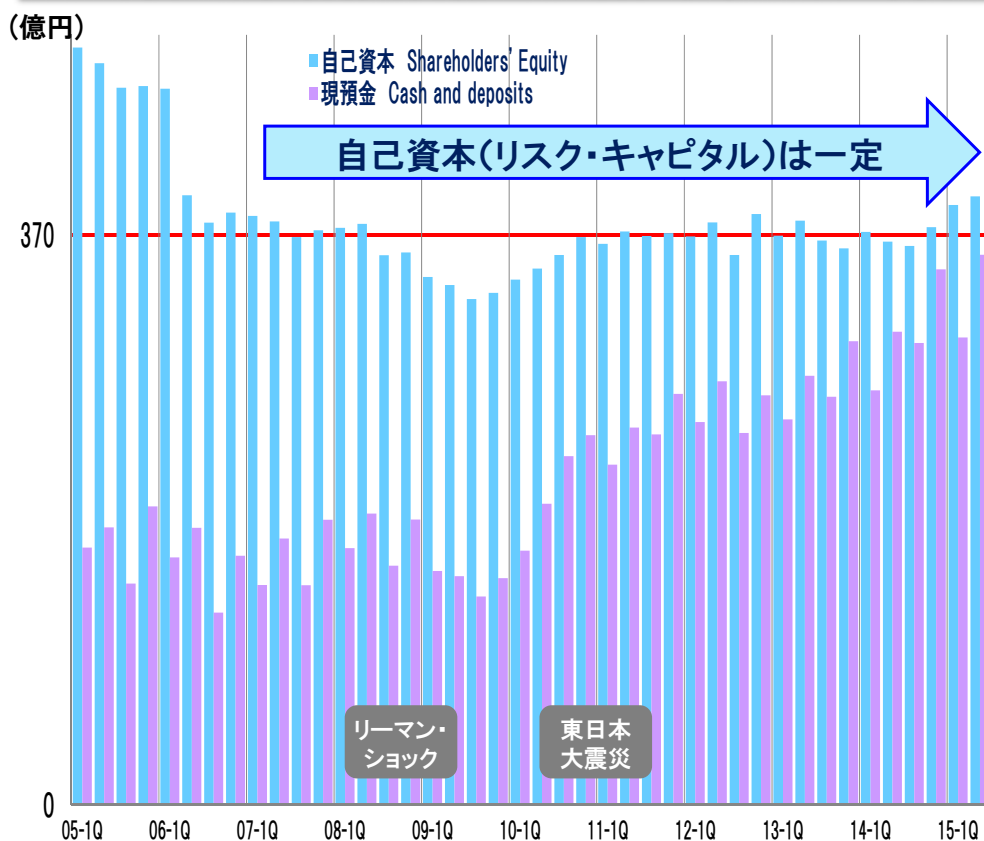


出所:厚生労働省「労働者派遣事業報告書の集計結果」、推定値は当社試算。

注:当社は推定値に関して何ら一切の責任を負いません。

自己資本・現預金

- ✓ 既方針に則した利益配分を継続し、自己資本は約370億円を維持
- ✓ 今後の成長目標も見据えて、現状水準の「自己資本の“質と量”の充実」を優先



- 無期雇用エンジニア派遣事業では、経済危機下でも、エンジニアの雇用を守り抜く事が持続的成長に不可欠 → エンジニアは、安定雇用を前提として、自身のキャリアを磨く事に専念し続ける
- そのためには、資金残高にも配慮しつつ、財務の安全性につながる「自己資本の“質と量”の充実」を優先する

業種別売上高推移【メイテック】

(百万円)

メイテック	2012年 3月期2Q	2013年 3月期2Q	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	2016年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	4,562	5,529	6,283	7,518	8,574	25.9%	+1,056	+14.1%
航空機・ロケット関連	1,893	2,099	2,276	2,492	2,670	8.1%	+177	+7.1%
産業用機器、機械器具および装置関連	3,834	4,081	4,130	4,612	4,909	14.8%	+296	+6.4%
精密機器関連	1,697	1,977	2,194	2,335	2,469	7.5%	+133	+5.7%
情報通信機器関連	2,504	2,492	2,588	2,618	2,406	7.3%	△ 211	△8.1%
電気・電子機器、電気機械器具設計	4,268	4,335	3,946	3,887	4,017	12.1%	+129	+3.3%
半導体・集積回路関連	1,632	1,658	1,760	1,949	2,095	6.3%	+146	+7.5%
半導体製造装置関連	875	908	920	865	950	2.9%	+84	+9.8%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	1,862	1,900	1,843	2,037	2,357	7.1%	+320	+15.7%
プラント関連	705	769	778	888	1,103	3.3%	+215	+24.2%
建築関連	141	172	182	188	181	0.5%	△ 6	△3.4%
その他	1,277	1,199	1,246	1,293	1,399	4.2%	+106	+8.2%
合計	25,256	27,125	28,150	30,682	33,131	100.0%	+2,449	+8.0%

44

業種別売上高推移【メイテックフィルダース】

(百万円)

メイテックフィルダース	2012年 3月期2Q	2013年 3月期2Q	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	2016年3月期2Q			
	売上高				売上高	売上 構成比	対前年 増減額	対前年 増減率
自動車、輸送機器関連(航空機を除く)	904	1,249	1,551	1,981	2,385	37.3%	+403	+20.4%
航空機・ロケット関連	47	74	91	95	115	1.8%	+20	+21.0%
産業用機器、機械器具および装置関連	578	611	715	862	941	14.7%	+78	+9.1%
精密機器関連	556	603	763	820	808	12.7%	△ 12	△1.5%
情報通信機器関連	156	163	169	201	209	3.3%	+8	+4.1%
電気・電子機器、電気機械器具設計	867	873	735	768	819	12.8%	+51	+6.7%
半導体・集積回路関連	359	264	234	226	233	3.7%	+6	+2.9%
半導体製造装置関連	264	200	234	196	230	3.6%	+33	+17.2%
情報処理、ソフトウェア開発・運用	40	73	111	164	168	2.6%	+3	+2.3%
プラント関連	63	91	132	183	225	3.5%	+41	+22.6%
建築関連	10	44	46	12	7	0.1%	△ 4	△37.4%
その他	66	70	58	240	242	3.8%	+1	+0.8%
合計	3,942	4,113	4,513	5,753	6,386	100.0%	+632	+11.0%

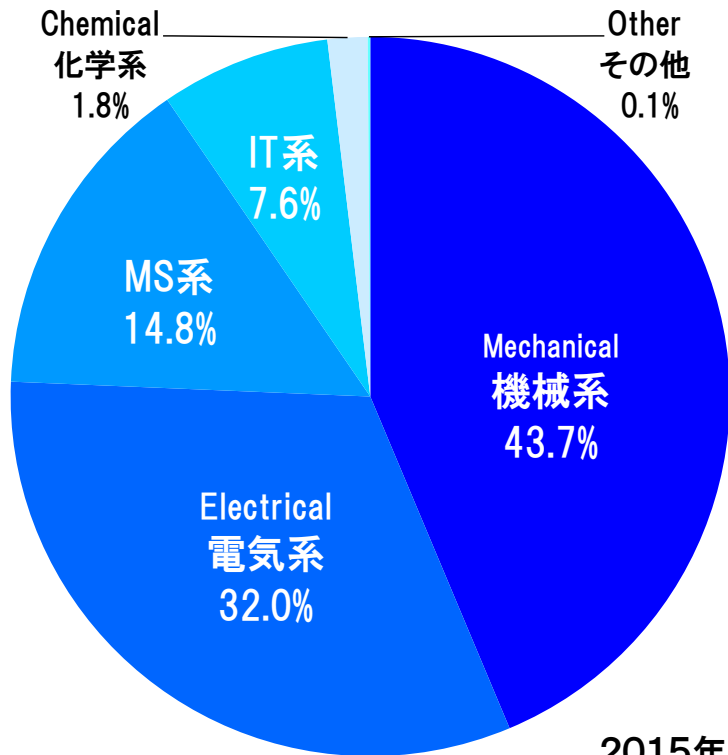
45

メイテックエンジニアの構成

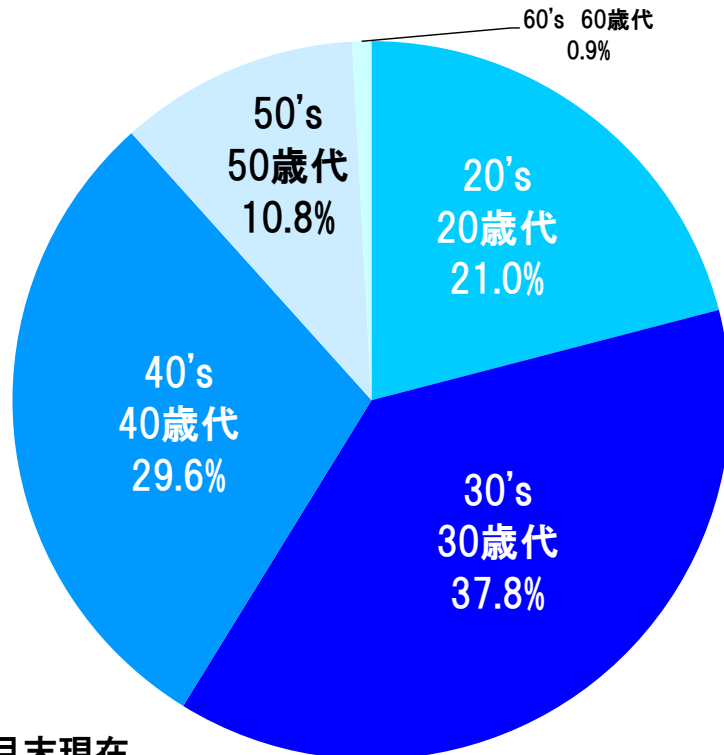
再掲

- ✓ メイテック・エンジニアの技術分野は、機械系、電気系エンジニアで約7割
- ✓ メイテック・エンジニアの年齢構成は、30代の占める割合が高い

技術分野/Technical field



年齢/According to age



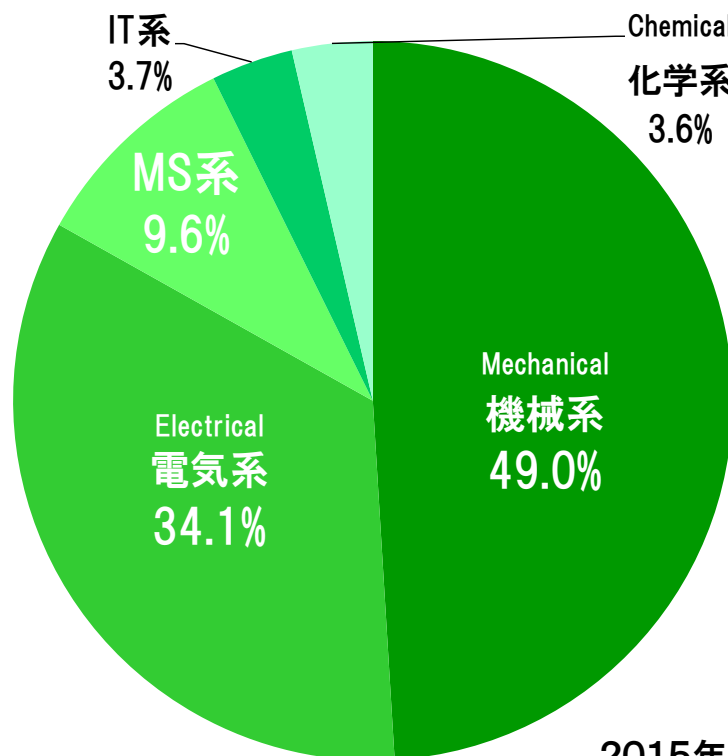
2015年3月末現在

メイテックフィルダースエンジニアの構成

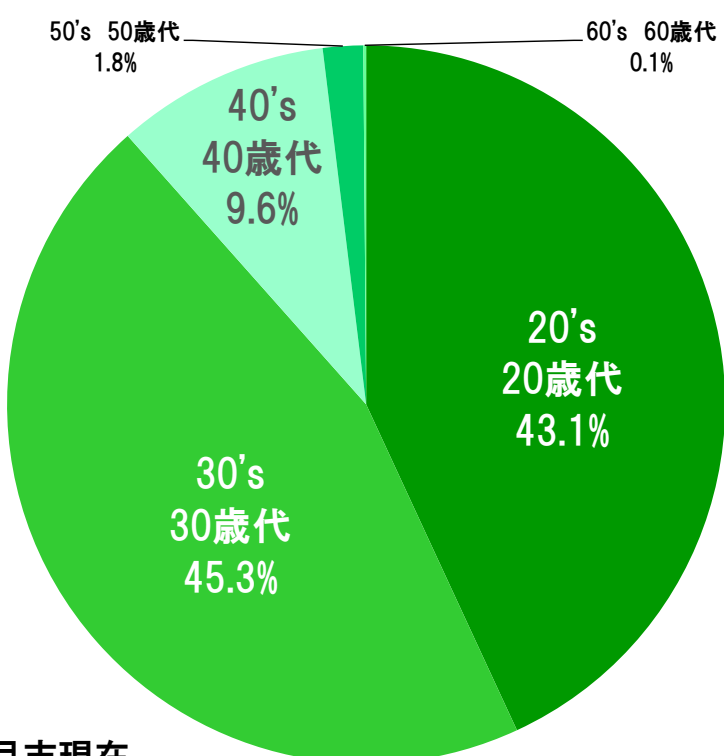
再掲

- ✓ 技術分野は、機械系、電気系エンジニアで約8割
- ✓ 年齢構成は、20代、30代の占める割合が高い

技術分野/Technical field



年齢/According to age



2015年3月末現在

2016年3月期第2四半期業績

- ✓ 子会社別の実績
- ✓ 紹介事業のメイテックネクストの売上高営業利益率は30%超

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研 グループ
売上高	33,131	6,386	1,299	29	639	68	25	846
前期比 増減額	+2,448	+632	+63	+3	+103	+14	▲18	+109
前期比 増減率	+8.0%	+11.0%	+5.1%	+15.2%	+19.3%	+26.5%	▲42.5%	+14.9%
営業利益	3,927	547	46	△14	204	29	△24	10
前期比 増減額	+662	+61	+2	+1	+23	+21	+21	+25
前期比 増減率	+20.3%	+12.6%	+4.8%	—	+13.2%	+292.7%	—	—
経常利益	4,395	548	46	△14	204	29	△24	11
四半期純利益	3,749	349	29	△14	136	25	△24	5

48

2016年3月期業績予想

- ✓ 子会社別の業績予想
- ✓ 紹介事業のメイテックネクストは前期比+15%の増収を計画

(百万円)	派遣事業				紹介事業			ES事業
	メイテック	メイテック フィルダーズ	メイテック キャスト	メイテック EX	メイテック ネクスト	all engineer.jp	明達科 (中国)	アポロ技研 グループ
売上高	67,900	13,000	2,600	60	1,300	140	70	1,700
前期比 増減額	+3,224	+1,088	+75	+6	+168	+22	▲32	+41
前期比 増減率	+5.0%	+9.1%	+3.0%	+12.1%	+14.9%	+19.5%	▲31.8%	+2.5%
営業利益	8,400	1,100	80	△30	380	40	△30	30
前期比 増減額	+474	+26	▲17	▲1	▲5	+14	+24	+18
前期比 増減率	+6.0%	+2.4%	▲18.2%	+4.9%	▲1.4%	+58.2%	▲45.0%	+152.9%
経常利益	8,900	1,100	80	△30	380	40	△40	30
当期純利益	7,000	700	50	△30	250	40	△40	30

49

【連結】業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q
売上高	41,396	26,203	29,357	31,937	34,130	35,754	39,300	42,143
原価	29,429	23,478	23,628	24,052	25,119	26,607	29,366	31,321
原価率	71.1%	89.6%	80.5%	75.3%	73.6%	74.4%	74.7%	74.3%
売上総利益	11,966	2,724	5,728	7,885	9,010	9,146	9,934	10,822
販売費及び一般管理費	6,591	5,973	5,065	5,556	6,119	6,239	5,941	6,077
販管費率	15.9%	22.8%	17.3%	17.4%	17.9%	17.4%	15.1%	14.4%
営業利益	5,375	▲3,248	662	2,328	2,891	2,907	3,992	4,744
営業利益率	13.0%	▲12.4%	2.3%	7.3%	8.5%	8.1%	10.2%	11.3%
営業外収益	53	2,456	1,468	46	74	33	24	14
営業外費用	33	58	43	24	20	9	3	35
経常利益	5,395	▲850	2,087	2,350	2,945	2,931	4,012	4,723
経常利益率	13.0%	▲3.2%	7.1%	7.4%	8.6%	8.2%	10.2%	11.2%
特別利益	10	26	297	—	47	—	7	1,084
特別損失	60	26	83	2	206	18	3,464	30
税金等調整純利益	5,345	▲850	2,302	2,347	2,786	2,913	555	5,777
法人税等・少数株主損益	2,305	364	686	1,051	1,094	1,207	362	1,979
四半期純利益	3,039	▲1,214	1,615	1,295	1,692	1,706	193	3,798
純利益率	7.3%	▲4.6%	5.5%	4.1%	5.0%	4.8%	0.5%	9.0%

50

〈メイテック〉業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q
売上高	31,163	20,097	22,698	25,256	27,125	28,150	30,682	33,131
原価	22,095	18,015	18,629	19,180	20,081	21,094	23,091	24,758
原価率	70.9%	89.6%	82.1%	75.9%	74.0%	74.9%	75.3%	74.7%
売上総利益	9,067	2,082	4,069	6,075	7,043	7,056	7,591	8,372
販売費及び一般管理費	4,082	4,013	3,829	4,131	4,583	4,664	4,325	4,444
販管費率	13.1%	20.0%	16.9%	16.4%	16.9%	16.6%	14.1%	13.4%
営業利益	4,985	▲1,931	239	1,944	2,460	2,392	3,265	3,927
営業利益率	16.0%	▲9.6%	1.1%	7.7%	9.1%	8.5%	10.6%	11.9%
営業外収益	510	2,070	1,350	337	291	403	435	497
営業外費用	24	28	16	19	11	4	3	30
経常利益	5,471	109	1,573	2,262	2,739	2,791	3,697	4,395
経常利益率	17.6%	0.5%	6.9%	9.0%	10.1%	9.9%	12.0%	13.3%
特別利益	5	1	1	—	—	—	8	1,084
特別損失	56	15	73	2	210	43	3,463	43
税金等調整純利益	5,420	95	1,501	2,260	2,528	2,748	242	5,437
税金費用など	2,018	64	600	904	935	1,003	70	1,687
四半期純利益	3,402	31	900	1,356	1,593	1,745	172	3,749
純利益率	10.9%	0.2%	4.0%	5.4%	5.9%	6.2%	0.6%	11.3%

51

〈メイテックフィルダース〉業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q
売上高	5,531	3,402	3,942	4,113	4,513	5,037	5,753	6,386
原価	4,029	3,372	3,138	3,134	3,436	3,879	4,453	4,965
原価率	72.8%	99.1%	79.6%	76.2%	76.1%	77.0%	77.4%	77.7%
売上総利益	1,502	30	804	978	1,076	1,157	1,300	1,421
販売費及び一般管理費	1,032	990	549	738	807	806	813	873
販管费率	18.7%	29.1%	13.9%	17.9%	17.9%	16.0%	14.1%	13.7%
営業利益	469	▲960	254	240	269	351	486	547
営業利益率	8.5%	▲28.2%	6.4%	5.8%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%
営業外収益	4	455	136	2	1	1	—	—
営業外費用	—	1	—	—	—	—	—	—
経常利益	474	▲506	389	242	270	352	486	548
経常利益率	8.6%	▲14.9%	9.9%	5.9%	6.0%	7.0%	8.5%	8.6%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	1	—	—	—	—	—
税金等調整純利益	473	▲507	389	242	270	352	486	548
税金費用など	197	277	15	96	102	133	189	198
四半期純利益	276	▲785	373	145	167	218	297	349
純利益率	5.0%	▲23.1%	9.5%	3.5%	3.7%	4.3%	5.2%	5.5%

52

〈メイテックネクスト〉業績推移

(百万円)	2008-2Q	2009-2Q	2010-2Q	2011-2Q	2012-2Q	2013-2Q	2014-2Q	2015-2Q
売上高	275	173	215	283	368	447	536	639
原価								
原価率								
売上総利益	275	173	215	283	368	447	536	639
販売費及び一般管理費	289	180	162	203	246	278	355	435
販管费率	105.2%	104.0%	75.1%	71.7%	67.0%	62.2%	66.3%	68.0%
営業利益	▲14	▲6	53	80	121	169	180	204
営業利益率	▲5.2%	▲4.0%	24.9%	28.3%	33.0%	37.8%	33.7%	32.0%
営業外収益	—	—	1	—	—	—	—	—
営業外費用	—	—	—	—	—	—	—	—
経常利益	▲14	▲6	55	80	121	169	180	204
経常利益率	▲5.2%	▲3.9%	25.5%	28.4%	33.0%	37.9%	33.7%	32.0%
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—	—	—	—	—
税金等調整純利益	▲14	▲6	54	80	121	169	180	204
税金費用など	—	—	—	—	9	55	64	67
四半期純利益	▲14	▲7	54	80	112	114	116	136
純利益率	▲5.3%	▲4.1%	25.1%	28.4%	30.5%	25.5%	21.6%	21.4%

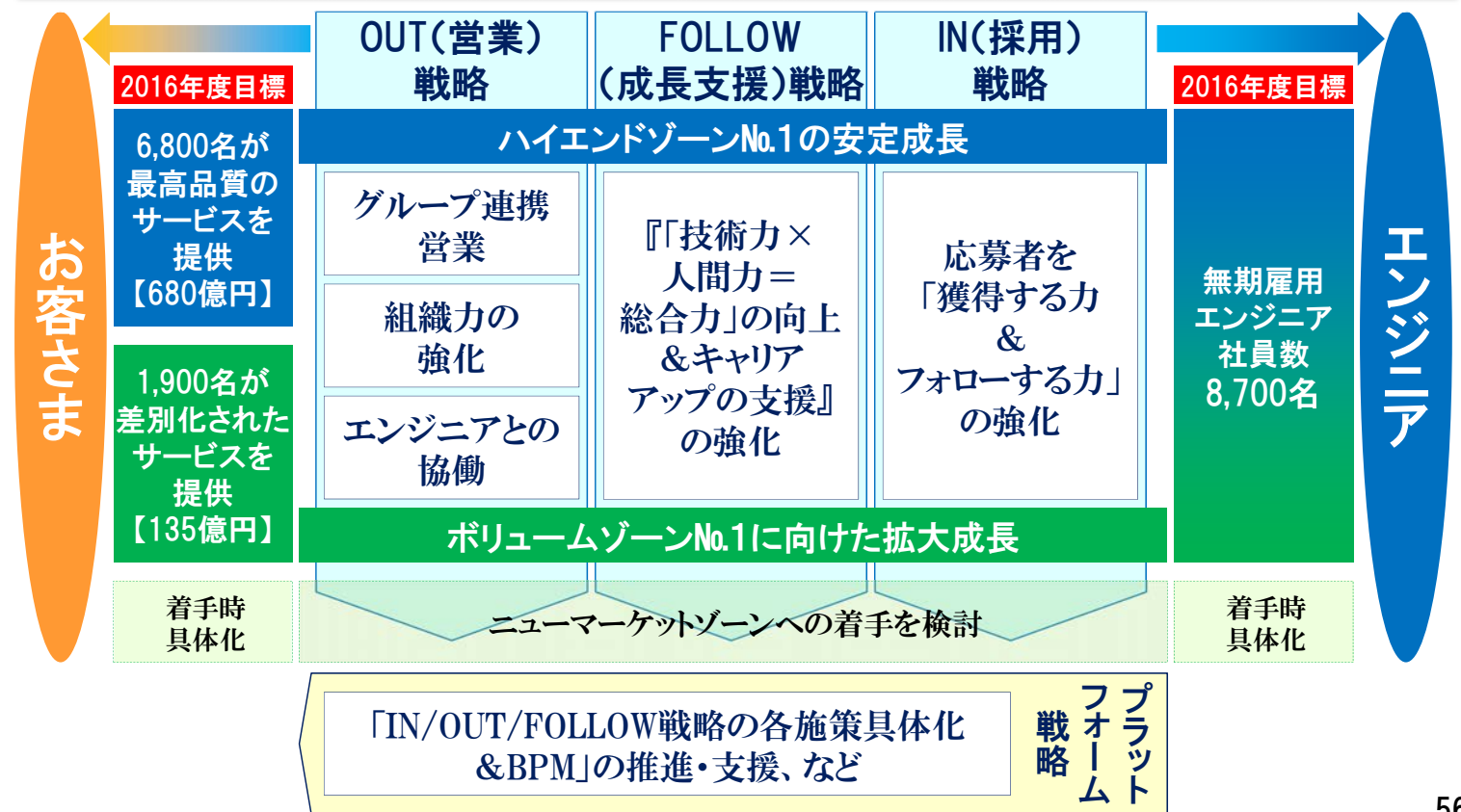
53

利益配分実績と予想

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	実績 2014年度	予想 2015年度	
配当性向(連結)	65.1%	1,085.7%	50.5%	58.9%	—	24.7%	68.5%	53.2%	56.1%	92.4%	50.2%	
純資産配当率(連結)	7.1%	7.4%	6.5%	6.9%	2.4%	2.6%	5.2%	8.4%	6.0%	9.2%		
年間配当	1株当たり	@¥90.50	@¥89.00	@¥72.00	@¥75.00	@¥24.50	@¥27.50	@¥58.50	@¥99.00	@¥72.00	@¥111.00	@¥126.00
	金額(百万円)	3,329	3,162	2,488	2,518	812	911	1,925	3,134	2,220	3,373	3,815
中間配当	1株当たり	@¥44.00	@¥44.00	@¥37.50	@¥47.00	@¥24.50		@¥29.00	@¥30.00	@¥31.50	@¥44.00	@¥63.00
	金額(百万円)	1,630	1,579	1,304	1,590	812		961	981	983	1,344	1,907
期末配当	1株当たり	@¥46.50	@¥45.00	@¥34.50	@¥28.00		@¥27.50	@¥29.50	@¥69.00	@¥40.50	@¥67.00	@¥63.00
	金額(百万円)	1,699	1,583	1,184	928		911	965	2,153	1,237	2,029	1,907
自己株式取得	株数(千株)	1,405	1,353	857	1,174			421	1,506	641	269	
	金額(百万円)	5,100	5,099	3,100	2,800			700	2,800	1,800	899	3,800
総利益配分額 (百万円)	8,429	8,261	5,588	5,318	812	911	2,625	5,934	4,020	4,273	7,615	
株式消却	株数(千株)	1,562	1,400		342			400	1,700	500	300	
株価	期初4月1日	¥3,830	¥3,870	¥3,860	¥3,040	¥1,242	¥1,893	¥1,621	¥1,681	¥2,193	¥2,857	¥3,965
	期末3月31日	¥3,870	¥3,800	¥3,020	¥1,216	¥1,831	¥1,664	¥1,669	¥2,343	¥2,930	¥4,025	
1株当たり当期純利益	@¥138.93	@¥8.20	@¥142.64	@¥127.31	@¥▲27.30	@¥111.33	@¥85.45	@¥186.08	@¥128.30	@¥120.12	@¥250.95	
1株当たり純資産	@¥1,274.10	@¥1,092.80	@¥1,086.71	@¥1,081.85	@¥1,002.58	@¥1,112.69	@¥1,135.10	@¥1,229.62	@¥1,182.85	@¥1,238.78		

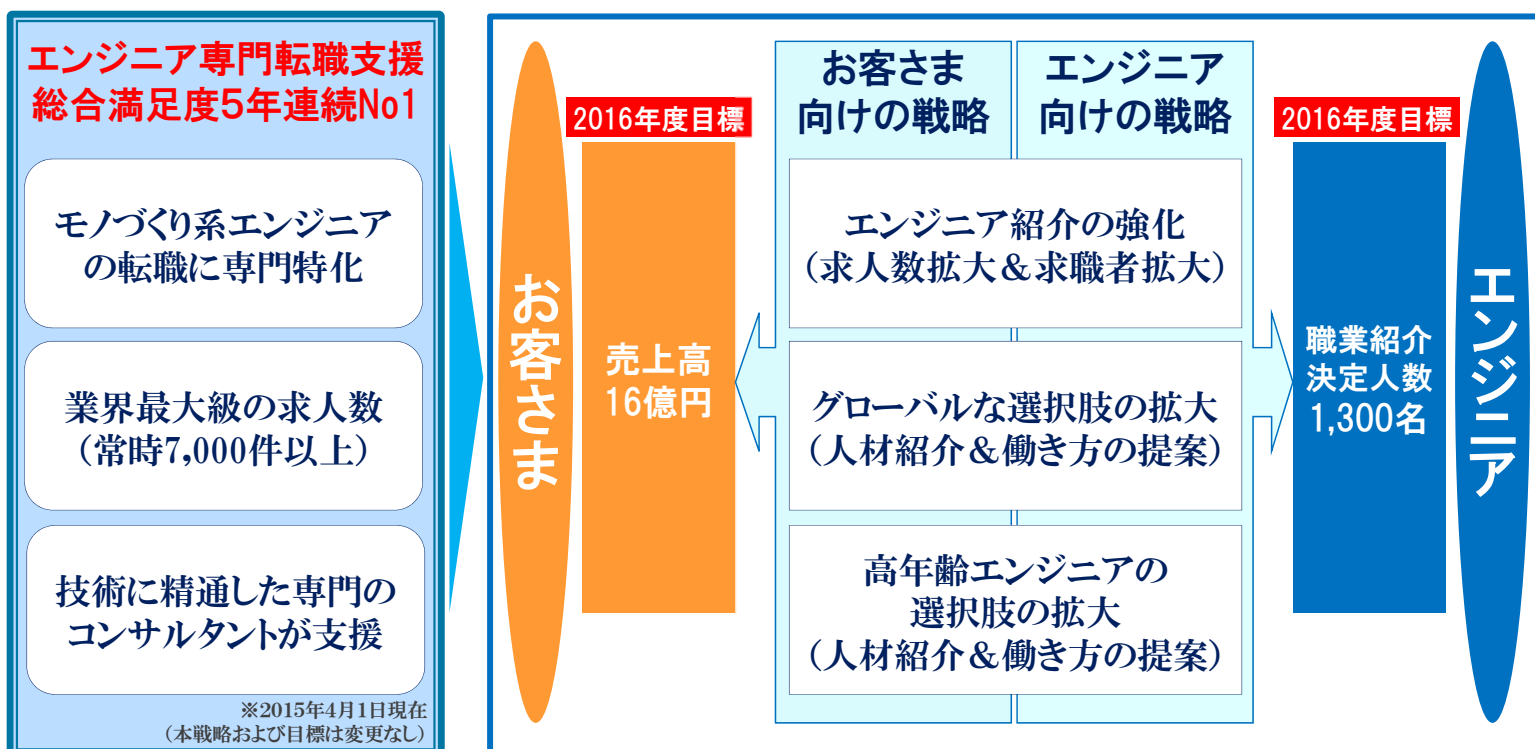
余白

✓ エンジニア派遣事業で、強みの『最大・最高の「機会と場」』をより一層拡大へ
→4つの戦略(IN・OUT・FOLLOW・プラットフォーム)が一体となって、2つのサービス提供先への価値を向上



56

✓ エンジニア紹介事業で、強みの「エンジニア専門転職支援_総合満足度No1」を磨き一層拡大へ
✓ 今回の中期計画では、エンジニア紹介事業の中でグローバル展開を検討



※上記「2016年度目標」には、メイテックキャストにおける紹介業務の目標値を含む

57



優良派遣事業者

株式会社メイテック	1402014(01)
株式会社メイテックフィルダース	1402015(01)
株式会社メイテックキャスト	1402017(01)

2014年度認定(認定期限:2018年3月31日)

メイテックは、厚生労働省委託事業である「優良派遣事業者認定制度」にて、「優良派遣事業者」に認定されました。

優良派遣事業者認定制度とは、法令を遵守しているだけでなく、派遣社員のキャリア形成支援やより良い労働環境の確保、派遣先でのトラブル予防など、派遣社員と派遣先の双方に安心できるサービスを提供できているかについて、一定の基準を満たした派遣事業者を「優良派遣事業者」として認定するものです。派遣社員や派遣先企業は、信頼のある派遣会社を選択できるなど、派遣元・派遣先・派遣社員の三者にメリットがあると考えております。

なお、メイテックグループ会社である、メイテックフィルダース、メイテックキャストも、合わせて認定を取得しております。

✓ 2015年11月5日時点。当社独自の委員会、独立役員5名、明快な役員報酬算定、等
※詳細は、有価証券報告書、東京証券取引所宛提出済の報告書をご覧ください

I. 会社の機関

1.組織形態	監査役設置会社
2.メイテック独自の仕組みとして、社外取締役を委員長とする下記2委員会を設置	
(1)コーポレートガバナンス委員会	目的：コーポレートガバナンス・社会的責任体制の強化
(2)CEO指名委員会	目的：メイテックグループCEOの最適格者を客観的に協議・選考

II. 取締役・監査役・執行役員

	人数	うち 社外	うち 独立役員	定款上の 員数
取締役	9	2	2	22
監査役	3	3	3	4
合計	12	5	5	26

	人数	うち 取締役兼務	男性
執行役員	13	5	13

注：代表取締役社長・CEO兼COOの1名を含む

III. 役員報酬の算定方法

- ✓ 決定プロセスの公開により、経営の透明化を高める
- ✓ 役員報酬の業績連動率を高める

1.個別報酬	CEO	月額	3,000千円以内
	COO	月額	2,500千円以内
	取締役	月額	2,000千円以内
	社外取締役	月額	500千円以内
	常勤監査役	月額	2,000千円以内
	非常勤監査役	月額	500千円以内

2.業績連動役員報酬

連結当期純利益(業績連動役員報酬を含まない)金額の2%に相当する金額の100万円以下を切り捨てた金額を業績連動役員報酬の総額(うち社外取締役は1名あたり600万円以内)とし、各取締役の個別業績に基づき分配

- 役員退職慰労金制度は廃止済
- 監査役に業績連動役員報酬は支給しない、
- その他条件などは有価証券報告等をご覧ください

IV. その他

- コーポレートガバナンス・コード制定に基づく方針の策定・開示
- コーポレートガバナンスに関する基本方針
 - 株主・投資家との対話に関する方針
 - 社外取締役又は社外監査役を選任するための独立性に関する基準
 - ディスクロージャーポリシー

60

株主セグメント別保有状況

株主セグメント	2015年9月30日現在			
	株主数(名)	構成比	所有株式数(株)	構成比
銀行	6	0.1%	803,601	2.5%
信託銀行	19	0.3%	7,993,100	24.8%
生保・損保会社	21	0.4%	3,798,283	11.8%
証券金融・その他金融会社	4	0.1%	18,060	0.1%
証券会社	35	0.6%	447,983	1.4%
事業会社・その他法人	93	1.7%	582,978	1.8%
外国法人・外国人	212	3.8%	13,481,999	41.9%
個人その他	5,226	93.1%	5,073,996	15.8%
合計	5,616	100.0%	32,200,000	100.0%

61

本 社	東京都港区赤坂
本 店	愛知県名古屋市西区
証券コード	9744(東証1部)
設 立	1974年(昭和49年)7月17日
取 引 先	株式1部・2部上場企業および優良中堅企業約1,000社
営業拠点	東京・名古屋・大阪など国内主要都市34拠点
グループ会社	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【派遣事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社メイテックフィルダーズ ■ 株式会社メイテックキャスト ■ 株式会社メイテックEX </div> <div style="width: 45%;"> <p>【紹介事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 株式会社メイテックネクスト ■ 株式会社all engineer.jp ■ 明達科(上海)科技有限公司 ■ 明達科(上海)人才服务有限公司 <p>【エンジニアリングソリューション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ アポロ技研株式会社 </div> </div>

人と技術で次代を拓く

MEITEC

メイテックグループ

IRに関するお問い合わせ

Tel : 03-5413-0131 Mail : ir@meitec.com

<http://www.meitec.co.jp>

〈ご注意〉

本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

実際の業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、既に公表している有価証券報告書等で記載した「事業等のリスク」に係る事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。